

令和3年度 那覇市生活状況に関する調査
(ひきこもりに関する実態調査)
結果報告書

令和5年3月
那覇市

目 次

I	調査の概要	1
1	背景及び目的	
2	定義	
3	調査対象者	
4	調査方法	
5	関係機関	
6	調査期間	
7	アンケート回収方法	
8	集計結果	
II	調査結果	3
1	本人	
2	家族	
3	那覇市民生委員・児童委員	
III	まとめ	55
IV	おわりに	58
	参考資料	
	令和3年度那覇市民意識調査におけるひきこもりに関する質問について	60
	調査票	62

I 調査の概要

1 背景及び目的

ひきこもりの状態に至る背景には、就労や生活困窮、心身の状態、不登校、地域社会との関係性など多くの要因があるとされており、その支援においては、本人の意思を尊重し、寄り添いながら継続した支援が求められている。一方で、その生活状況やニーズの把握は進んでいない状況がある。

内閣府調査によると、ひきこもり状態にある人は、全国の15歳から39歳までの人口の1.57%に当たる54.1万人（平成27年度調査）、全国の40歳から64歳までの人口の1.45%に当たる61.3万人（平成30年度調査）と推計され、全国にひきこもり状態にある人が115万人を超えると推計された。この内閣府の調査結果をもとに本市の令和4年3月末時点の人口から推計されるひきこもり状態にある人は、およそ2,800人とされる。

本市では、ひきこもりの状態にある人の実態やニーズを把握し、今後のひきこもり支援体制構築に役立てるため、本人、家族、那覇市民生委員・児童委員を対象に調査を行った。また、調査とは別に、令和3年度那覇市民意識調査においてひきこもりに関する質問を行った。

2 定義

ひきこもりとは、「様々な要因の結果として社会的参加(義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など)を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態(他者と交わらない形での外出をしてもよい)を指す現象概念である。なお、ひきこもりは原則として統合失調症の陽性あるいは陰性症状に基づくひきこもり状態とは一線を画した非精神病性の現象とするが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低いことに留意すべきである。」

（平成22年『ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン』厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業より引用）

3 調査対象者

下記の(1)、(2)、(3)とする。ただし、ひきこもりの状態の期間が6か月未満の方でも「2 定義」に準ずる方は調査対象とする。

- (1) 那覇市在住の満15歳から満64歳までのひきこもり状態にある(あった)方
- (2) (1)の同居ご家族
- (3) 那覇市民生委員・児童委員

4 調査方法

無記名質問紙調査。調査対象者に合わせて、3種類（本人用、同居家族用、民生委員・児童委員用）の調査票を使用した。調査票は内閣府調査^(注1)に準じて作成した。

(1) 本人用、同居家族用

ア 協力の得られた「5 関係機関」が把握している本人または同居ご家族（可能な限り両者）へアンケート調査を依頼する。

イ 同意の得られた対象者に調査票を配布する。

ウ 対象者は、調査期間内に調査票を記載、関係機関へ提出する。

（本人が回答する場合でも同居家族にも回答いただく。）

(2) 那覇市民生委員・児童委員用

ア 協力の得られた各圏域の民生委員児童委員協議会（16 地区）にて調査票を配布する。

イ 把握している該当者について記載、民生委員児童委員協議会に提出する。

5 関係機関

沖縄県子ども若者みらい相談プラザ sorae なは（以下 sorae とする）、kukulu、那覇市就職・生活支援パーソナルサポートセンター、那覇市地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会（16 地区）、家族会（KHJ 全国ひきこもり家族会連合会沖縄支部ていんさぐぬ花の会、不登校・ひきこもりを考える那覇・南部親の会）

6 調査期間

令和3年12月～令和4年1月

7 アンケート回収方法

令和4年2月上旬に調査票を回収。

8 集計結果

	配布数	有効回答数	回収率
本人	210	7	3.3%
家族	210	9	4.3%
民生委員・児童委員	459	85	18.5%

(注1) 平成27年度調査:15～39歳を対象に実施した「若者の生活に関する調査」、平成30年度調査:40～64歳を対象に実施した「生活状況に関する調査」

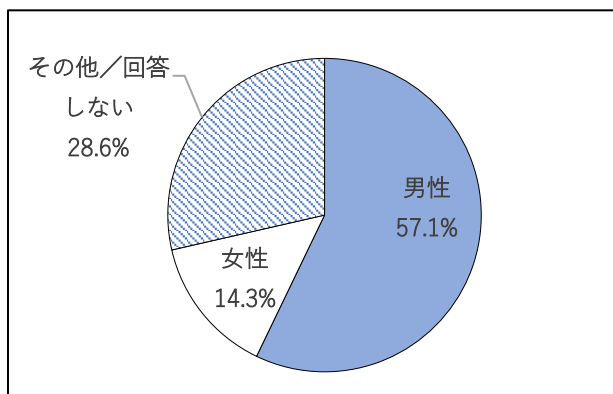
II 調査結果

1 本人

- ・配布数 210 件、有効回答数 7 件、回収率 3.3%。

Q 1. あなたの性別をお答えください。

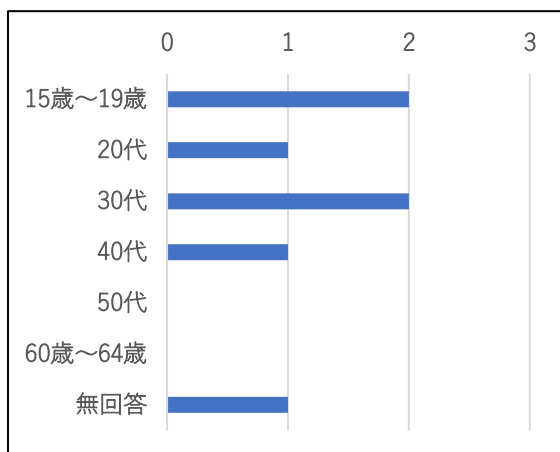
- ・「男性」が 4 名、「女性」が 1 名、「その他/回答しない」が 2 名となっている。



項目	回答数	割合
男性	4	57.1%
女性	1	14.3%
その他/回答しない	2	28.6%
合計	7	100.0%

Q 2. あなたの年齢をお答えください。

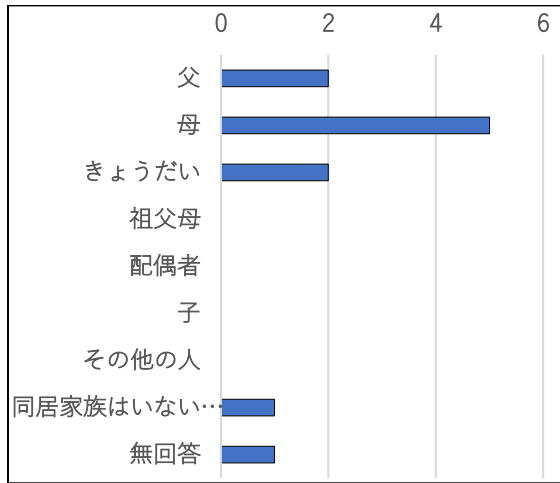
- ・「15-19 歳」と「30 代」が各 2 名、「20 代」と「40 代」「無回答」が各 1 名となっている。



項目	回答数	割合
15 歳～19 歳	2	28.6%
20 代	1	14.3%
30 代	2	28.6%
40 代	1	14.3%
50 代	0	0.0%
60 歳～64 歳	0	0.0%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

Q 3. 現在、あなたと同居している方に○をつけてください。（複数回答）

・「母」が5名、「父」と「きょうだい」が2名、「同居家族はいない（単身世帯）」が1名となっている。

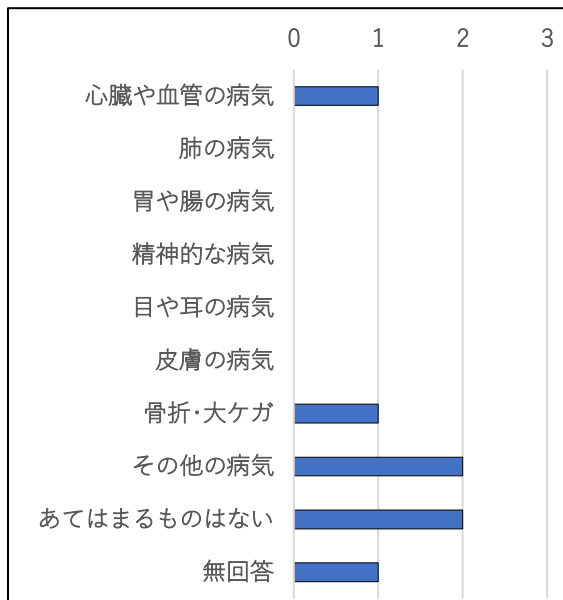


※回答者数を母数として割合を算出しています。

項目	回答数	割合
父	2	28.6%
母	5	71.4%
きょうだい	2	28.6%
祖父母	0	0.0%
配偶者	0	0.0%
子	0	0.0%
その他の人	0	0.0%
同居家族はいない（単身世帯）	1	14.3%
無回答	1	14.3%
合計	11	157.1%

Q 4. これまでに、以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。通院・入院したことがある病気に○をつけてください。（複数回答）

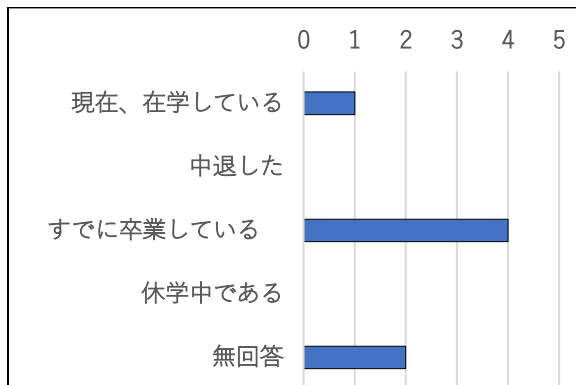
・「その他の病気」と「あてはまるものはない」が各2名、「心臓や血管の病気」と「骨折・大ケガ」が各1名となっている。



項目	回答数	割合
心臓や血管の病気	1	14.3%
肺の病気	0	0.0%
胃や腸の病気	0	0.0%
精神的な病気	0	0.0%
目や耳の病気	0	0.0%
皮膚の病気	0	0.0%
骨折・大ケガ	1	14.3%
その他の病気	2	28.6%
あてはまるものはない	2	28.6%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

Q 5. あなたは現在、学校に通っていますか。

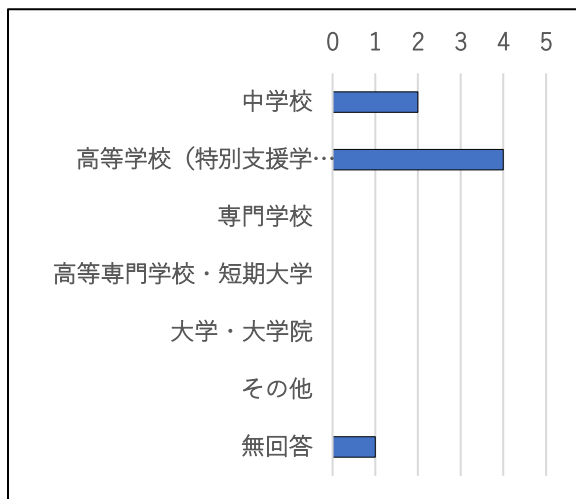
- ・「すでに卒業している」が4名、「現在、在学している」が1名となっている。



項目	回答数	割合
現在、在学している	1	14.3%
中退した	0	0.0%
すでに卒業している	4	57.1%
休学中である	0	0.0%
無回答	2	28.6%
合計	7	100.0%

Q 6. あなたが最後に卒業（中退を含む）した、または現在、在学している学校はどれですか。

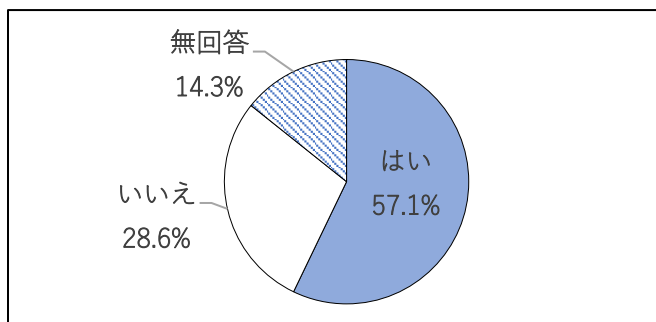
- ・「高等学校（特別支援学校含む）」が4名、「中学校」が2名となっている。



項目	回答数	割合
中学校	2	28.6%
高等学校（特別支援学校含む）」	4	57.1%
専門学校	0	0.0%
高等専門学校・短期大学	0	0.0%
大学・大学院	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

Q 7. あなたは、中学校、高校卒業(特別支援学校含む)時に進路が決まらないまま卒業しましたか。

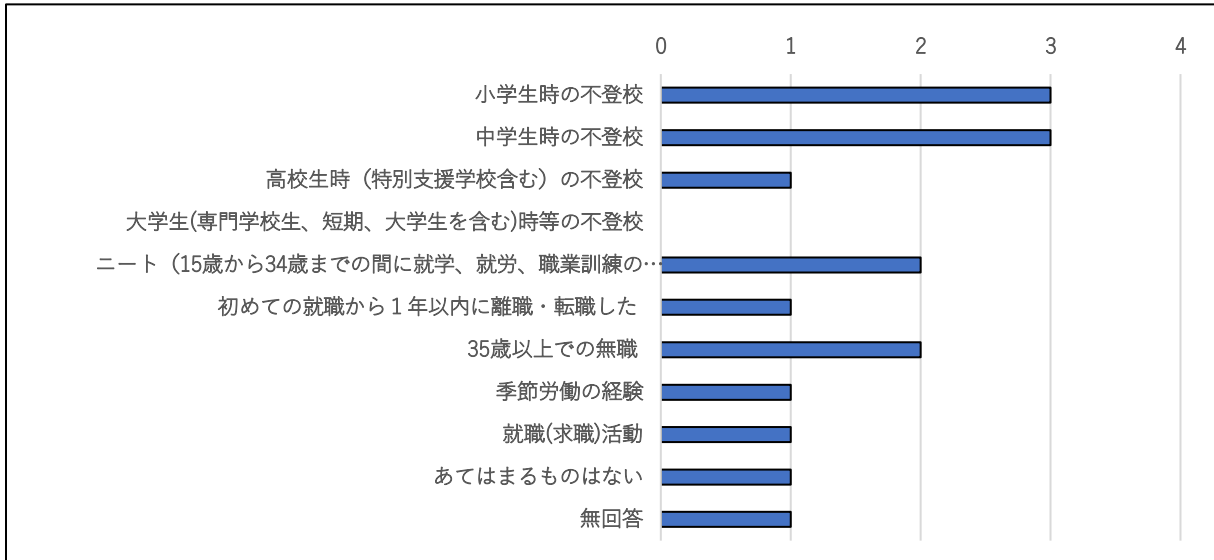
- ・進路が決まらないまま卒業したと回答した方が4名となっている。



項目	回答数	割合
はい	4	57.1%
いいえ	2	28.6%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

Q 8. これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものにすべて○をつけてください。（複数回答）

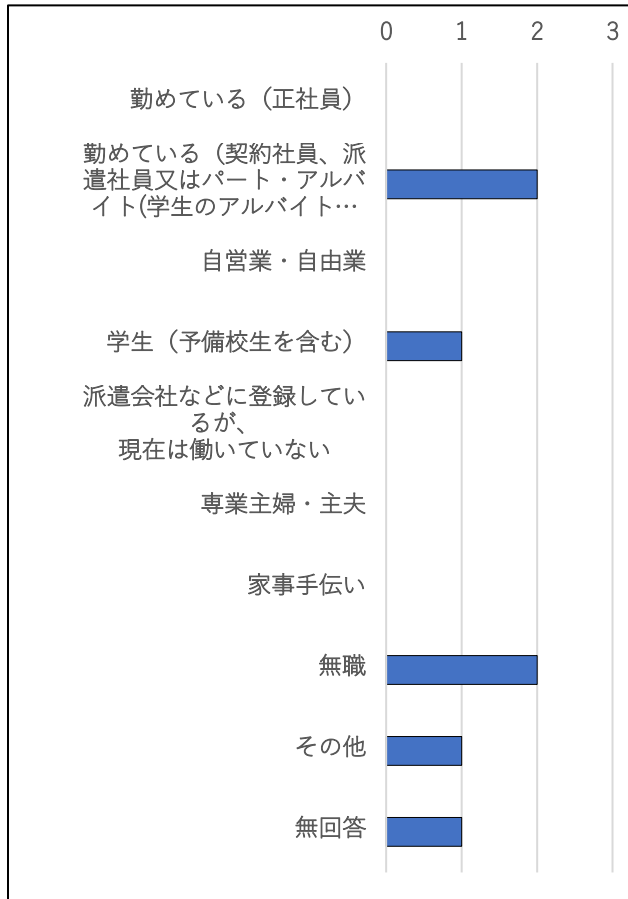
・「小学生時の不登校」と「中学生時の不登校」が各3名、「ニート」と「35歳以上の無職」が各2名となっており、「大学生(専門学校生、短期、大学生を含む)時等の不登校」を除くすべての項目に回答があった。



項目	回答数	割合
小学生時の不登校	3	18.8%
中学生時の不登校	3	18.8%
高校生時（特別支援学校含む）の不登校	1	6.3%
大学生(専門学校生、短期、大学生を含む)時等の不登校	0	0.0%
ニート（15歳から34歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態があった）	2	12.5%
初めての就職から1年以内に離職・転職した	1	6.3%
35歳以上の無職	2	12.5%
季節労働の経験	1	6.3%
就職(求職)活動	1	6.3%
あてはまるものはない	1	6.3%
無回答	1	6.3%
合計	16	100.0%

Q 9. あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。

・「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生のアバイトは除く)）」と「無職」が各2名、「学生（予備校生を含む）」と「その他」が各1名となっている。

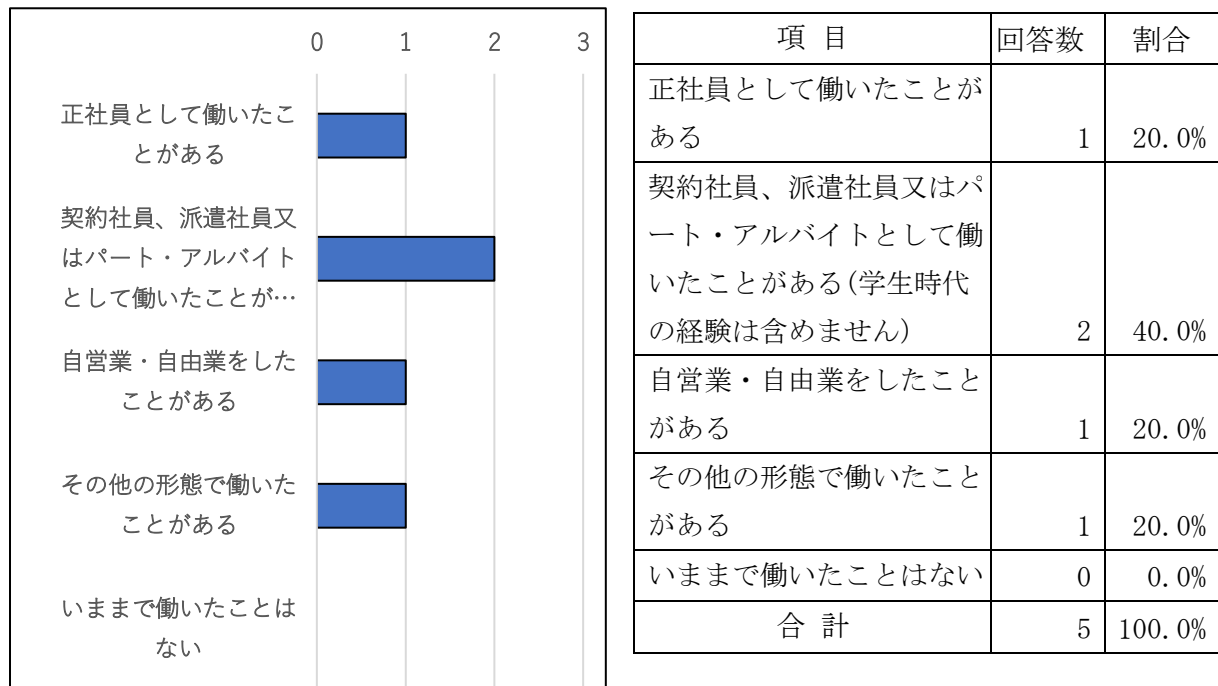


項目	回答数	割合
勤めている（正社員）	0	0.0%
勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生のアバイトは除く)）」	2	28.6%
自営業・自由業	0	0.0%
学生（予備校生を含む）」	1	14.3%
派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない	0	0.0%
専業主婦・主夫	0	0.0%
家事手伝い	0	0.0%
無職	2	28.6%
その他	1	14.3%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

※Q10～Q12 の回答は Q9 で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」、「専業主婦・主夫」、「家事手伝い」、「無職」と回答した方（2名）が対象

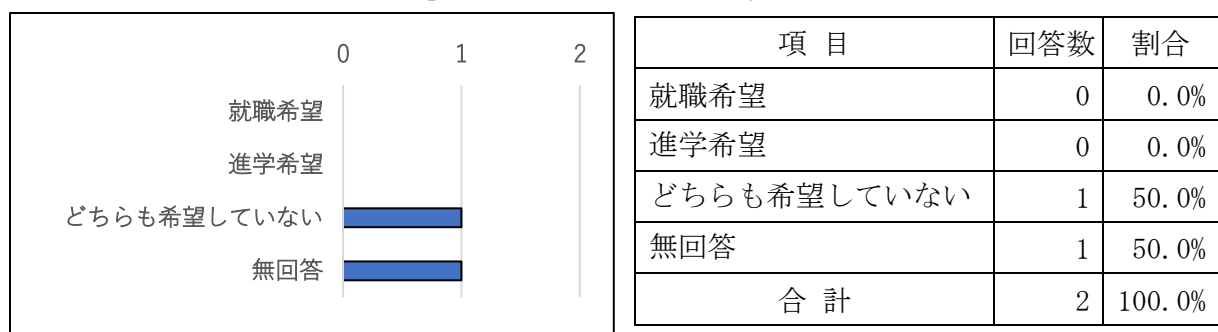
Q 10. あなたは、いままでに働いていたことはありますか。（複数回答）

・「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある」が2名となっている。「正社員として働いたことがある」、「自営業・自由業をしたことがある」、「その他の形態で働いたことがある」がそれぞれ1名となっている。



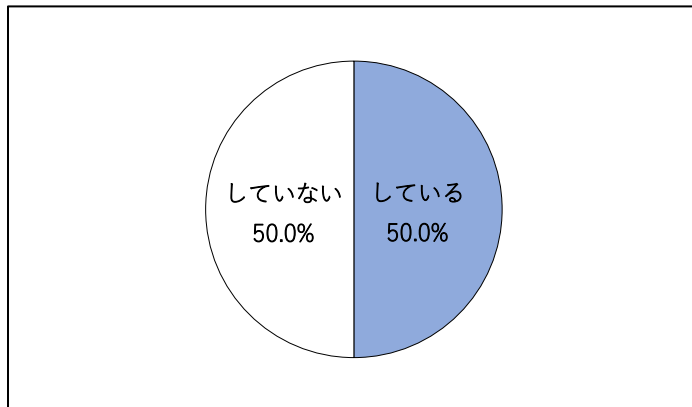
Q 11. 現在、就職または進学を希望していますか。

・「どちらも希望していない」が1名となっている。



Q 12. 現在、就職活動をしていますか。

- ・「している」、「していない」と回答した方がそれぞれ1名となっている。

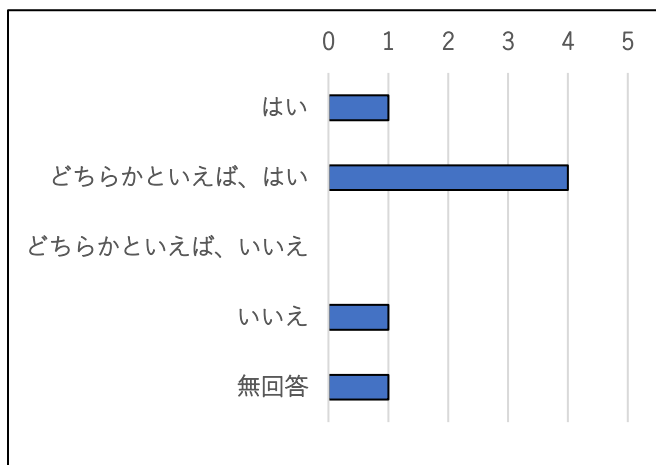


項目	回答数	割合
している	1	50.0%
していない	1	50.0%
合計	2	100.0%

Q 13. 次に挙げられた職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまるもの○をつけてください。

- (1) 自分にふさわしい仕事があるところにあると思う

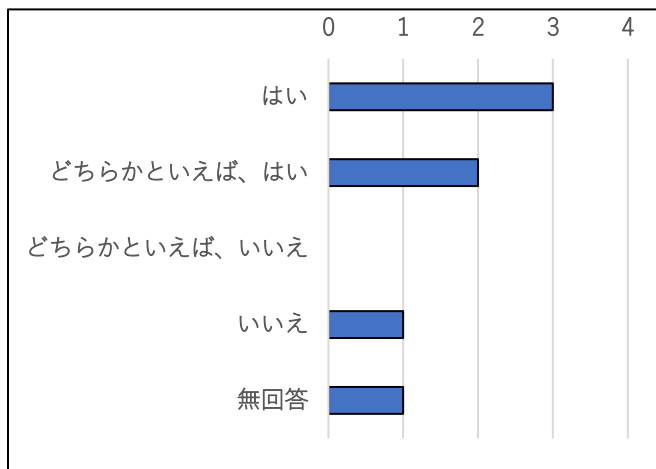
- ・「はい」、「どちらかといえば、はい」と回答した方が合わせて5名であった。



項目	回答数	割合
はい	1	14.3%
どちらかといえば、はい	4	57.1%
どちらかといえば、いいえ	0	0.0%
いいえ	1	14.3%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

(2) まだ自分の夢を実現させる仕事に就けていないと思う

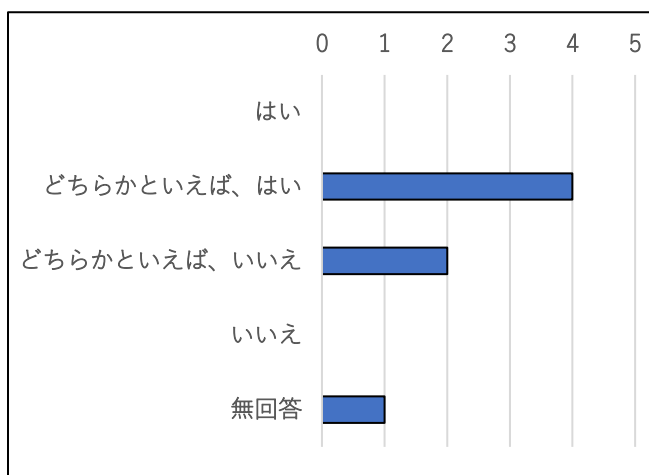
- ・「はい」、「どちらかといえば、はい」と回答した方が合わせて5名であった。



項目	回答数	割合
はい	3	42.9%
どちらかといえば、はい	2	28.6%
どちらかといえば、いいえ	0	0.0%
いいえ	1	14.3%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

(3) 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない

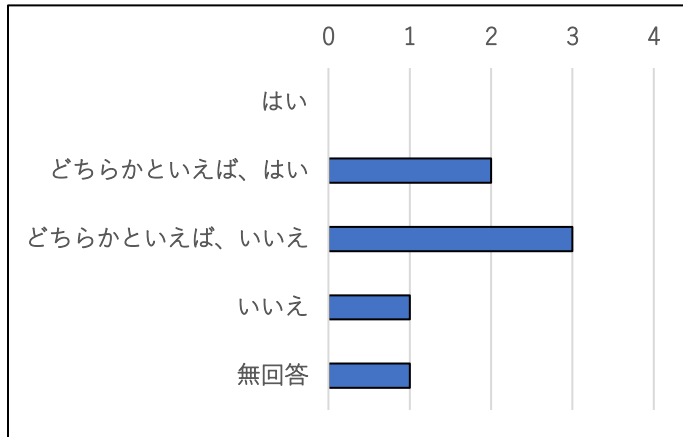
- ・「どちらかといえば、はい」と回答した方が4名であった。



項目	回答数	割合
はい	0	0.0%
どちらかといえば、はい	4	57.1%
どちらかといえば、いいえ	2	28.6%
いいえ	0	0.0%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

（４） 定職に就かない方が自由でいいと思う

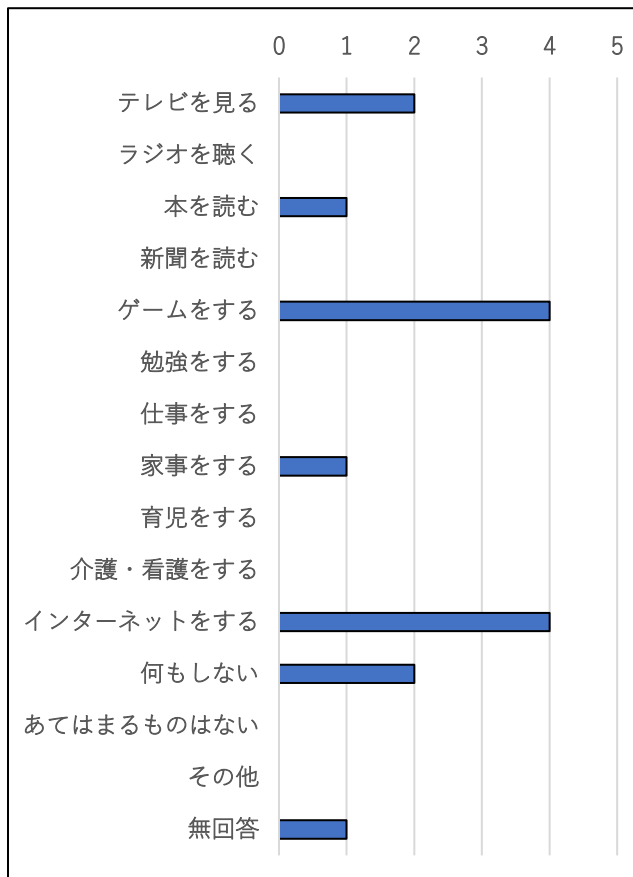
・「どちらかといえば、いいえ」、「いいえ」と回答した方が合わせて4名であった。



項目	回答数	割合
はい	0	0.0%
どちらかといえば、はい	2	28.6%
どちらかといえば、いいえ	3	42.9%
いいえ	1	14.3%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

Q 14. ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。
（複数回答）

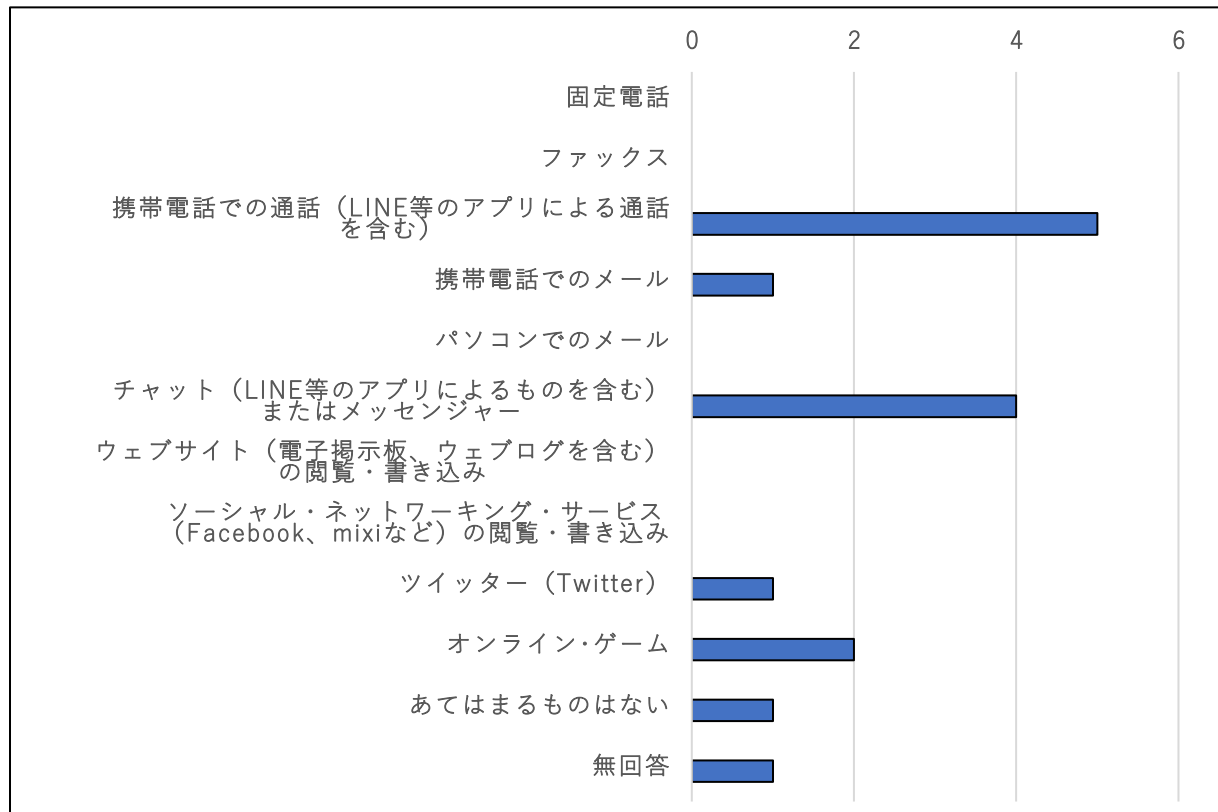
・「ゲームをする」と「インターネットをする」が各4名、「テレビを見る」と「何もしない」が各2名となっている。



項目	回答数	割合
テレビを見る	2	13.3%
ラジオを聴く	0	0.0%
本を読む	1	6.7%
新聞を読む	0	0.0%
ゲームをする	4	26.7%
勉強をする	0	0.0%
仕事をする	0	0.0%
家事をする	1	6.7%
育児をする	0	0.0%
介護・看護をする	0	0.0%
インターネットをする	4	26.7%
何もしない	2	13.3%
あてはまるものはない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	6.7%
合計	15	100.0%

Q 15. 以下に挙げられた通信手段の中で、ふだん利用しているものすべてに○をつけてください。（複数回答）

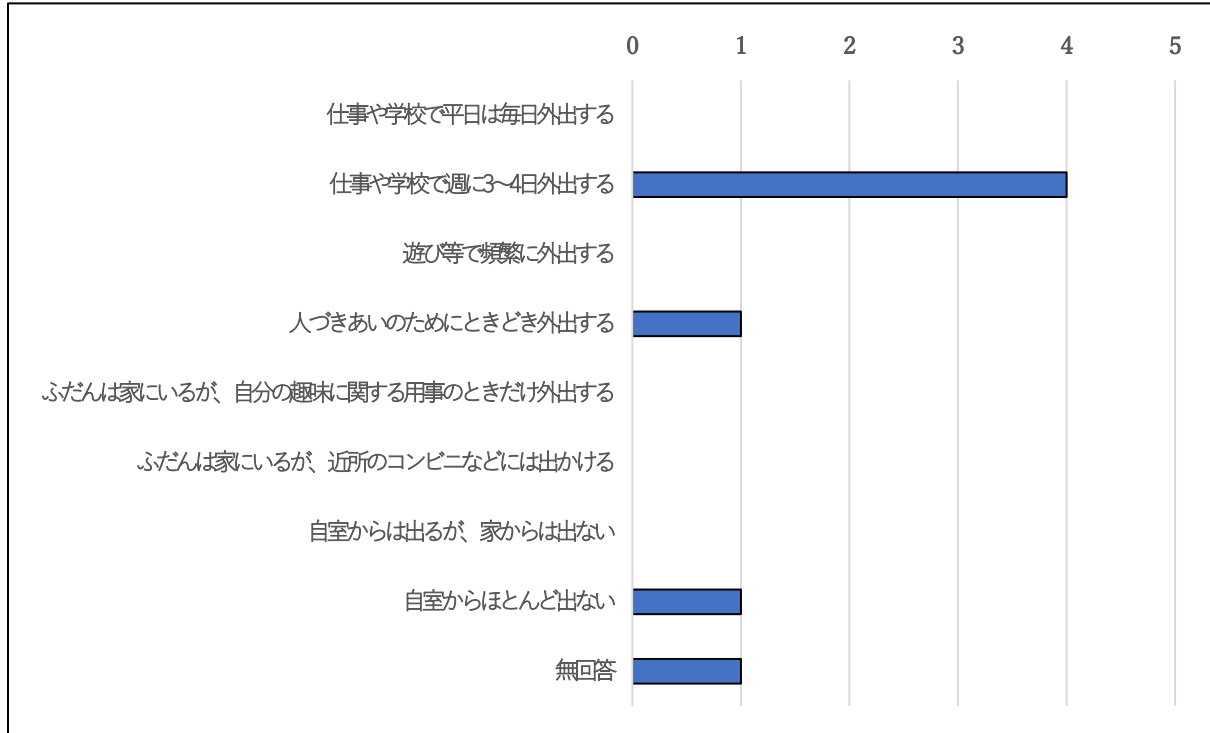
・「携帯電話での通話（LINE等のアプリによる通話を含む）」が5名、「チャット（LINE等のアプリによるものを含む）またはメッセージャー」が4名、「オンライン・ゲーム」が2名となっている。



項目	回答数	割合
固定電話	0	0.0%
ファックス	0	0.0%
携帯電話での通話（LINE等のアプリによる通話を含む）	5	33.3%
携帯電話でのメール	1	6.7%
パソコンでのメール	0	0.0%
チャット（LINE等のアプリによるものを含む）またはメッセージャー	4	26.7%
ウェブサイト（電子掲示板、ウェブログを含む）の閲覧・書き込み	0	0.0%
ソーシャル・ネットワーキング・サービス（Facebook、mixiなど）の閲覧・書き込み	0	0.0%
ツイッター（Twitter）	1	6.7%
オンライン・ゲーム	2	13.3%
あてはまるものはない	1	6.7%
無回答	1	6.7%
合計	15	100.0%

Q 16. ふだんどのくらい外出しますか。

・「仕事や学校で週に3～4日外出する」が4名、「人づきあいのためにときどき外出する」、「自室からほとんど出ない」がそれぞれ1名となっている。

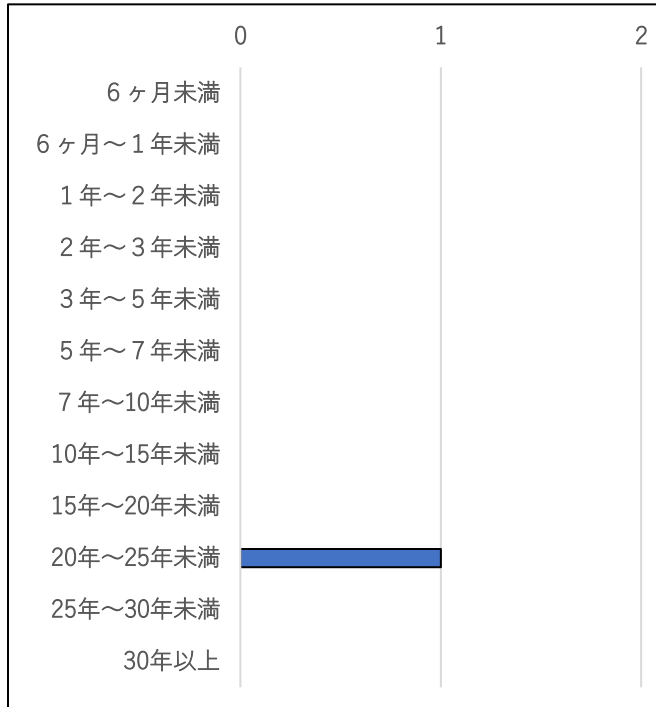


項目	回答数	割合
仕事や学校で平日は毎日外出する	0	0.0%
仕事や学校で週に3～4日外出する	4	57.1%
遊び等で頻繁に外出する	0	0.0%
人づきあいのためにときどき外出する	1	14.3%
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	0	0.0%
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	0	0.0%
自室からは出るが、家からは出ない	0	0.0%
自室からほとんど出ない	1	14.3%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

※Q17～Q26 の回答は Q16 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した方（1名）が対象

Q 17. 現在の状態となってどのくらい経ちますか。

- ・「20年～25年未満」と回答があった。



項目	回答数	割合
6ヶ月未満	0	0.0%
6ヶ月～1年未満	0	0.0%
1年～2年未満	0	0.0%
2年～3年未満	0	0.0%
3年～5年未満	0	0.0%
5年～7年未満	0	0.0%
7年～10年未満	0	0.0%
10年～15年未満	0	0.0%
15年～20年未満	0	0.0%
20年～25年未満	1	100.0%
25年～30年未満	0	0.0%
30年以上	0	0.0%
合計	1	100.0%

Q 18. 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。（数字で具体的に）

項目	回答数	割合
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

Q 19. 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。

項目	回答数	割合
よく会話した	0	0.0%
ときどき会話した	0	0.0%
ほとんど会話しなかった	0	0.0%
まったく会話しなかった	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

Q 20. 現在の状態になったきっかけは何ですか。（複数回答）

項目	回答数	割合
小学生時の不登校	0	0.0%
中学生時の不登校	0	0.0%
高校生時（特別支援学校含む）の不登校	0	0.0%
大学生時（専門学校生、短期大学生を含む）等の不登校	0	0.0%
受験に失敗したこと（高校・大学等）	0	0.0%
就職活動がうまくいかなかったこと	0	0.0%
職場になじめなかったこと	0	0.0%
人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0%
病気	0	0.0%
妊娠したこと	0	0.0%
退職したこと	0	0.0%
介護・看護を担うことになったこと	0	0.0%
特にない	0	0.0%
分からない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

Q 21. 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。

項目	回答数	割合
非常に思う	0	0.0%
思う	0	0.0%
少し思う	0	0.0%
思わない	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

Q 22. 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。（複数回答）

項目	回答数	割合
親身に聴いてくれる	0	0.0%
医学的な助言をくれる	0	0.0%
心理学の専門家がいる	0	0.0%
精神科医がいる	0	0.0%
同じ悩みを持つ人と出会える	0	0.0%
匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる	0	0.0%
無料で相談できる	0	0.0%
公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体（NPO など）である	0	0.0%
自宅に専門家が来てくれる	0	0.0%
自宅から近い	0	0.0%
あてはまるものはない	0	0.0%
どのような機関にも相談したくない	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

Q 23. 相談したくないと思う理由は何ですか。（複数回答）

項目	回答数	割合
自分のことを知られたくない	0	0.0%
行っても解決できないと思う	0	0.0%
何をきかれるか不安に思う	0	0.0%
相手にうまく話せないと思う	0	0.0%
行ったことを人に知られたくない	0	0.0%
お金がかかると思う	0	0.0%
相談機関が近くにない	0	0.0%
その他	0	0.0%
特に理由はない	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

Q 24. 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。

項目	回答数	割合
ある	0	0.0%
ない	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

Q 25. 相談したことがある機関に○をつけてください。（複数回答）

項目	回答数	割合
生活保護担当課（那覇市保護課）	0	0.0%
障害福祉担当課（那覇市障がい福祉課）	0	0.0%
職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関（地域若者サポートステーション琉球、沖縄県おしごと応援センターOne×One 等）	0	0.0%
保健所・保健センター（那覇市）	0	0.0%
精神保健福祉センター（沖縄県）	0	0.0%
病院・診療所	0	0.0%
発達障害者支援センター（「がじゅま〜る」）	0	0.0%
ひきこもり地域支援センター（沖縄県ひきこもり専門支援センター）	0	0.0%
子ども・若者総合相談センター（子ども若者みらい相談プラザ sorae（ソラエ））	0	0.0%
地域包括支援センター	0	0.0%
生活困窮者向けの相談窓口（那覇市就職・生活支援パーソナルサポートセンター等）	0	0.0%
社会福祉協議会	0	0.0%
当事者の会・家族会	0	0.0%
上記以外の民間の相談機関・支援機関（NPO 等）	0	0.0%
その他の施設・機関	0	0.0%
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

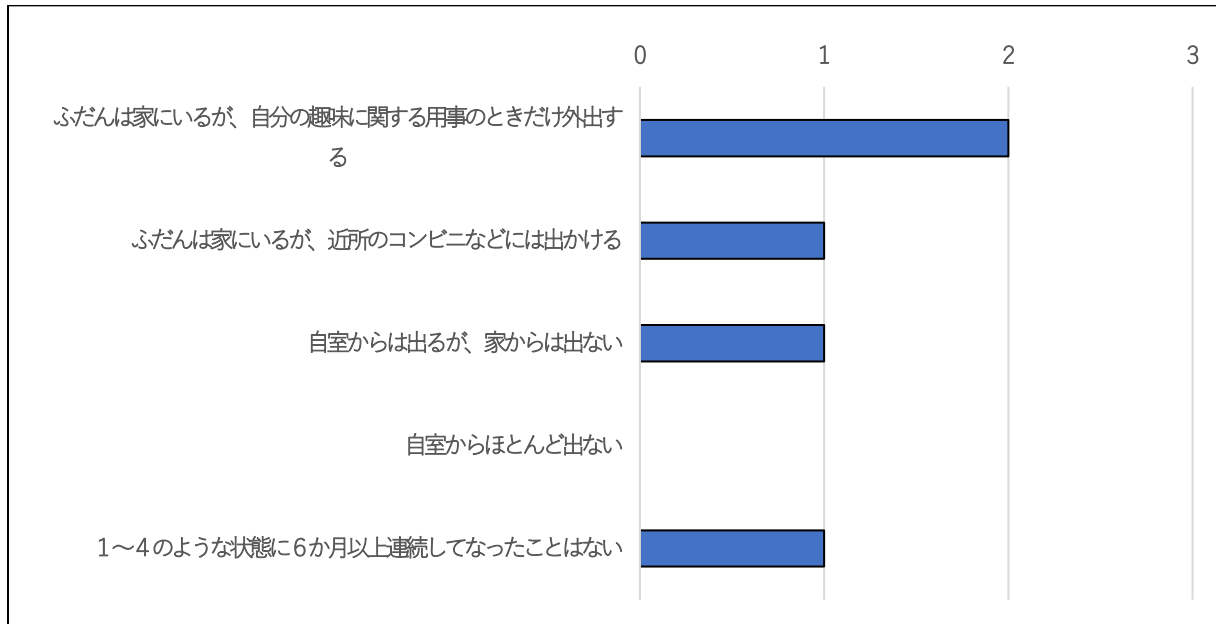
Q 26. 上記の機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

項目	回答数	割合
無回答	1	100.0%
合計	1	100.0%

※Q27 の回答は Q16 で「仕事や学校で平日は毎日外出する」、「仕事や学校で週に 3～4 日外出する」、「遊び等で頻繁に外出する」、「人づきあいのためにときどき外出する」と回答した方（5 名）が対象

Q 27. あなたは今までに 6 か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。

- ・「自室からほとんど出ない」を除く選択肢で回答があった。

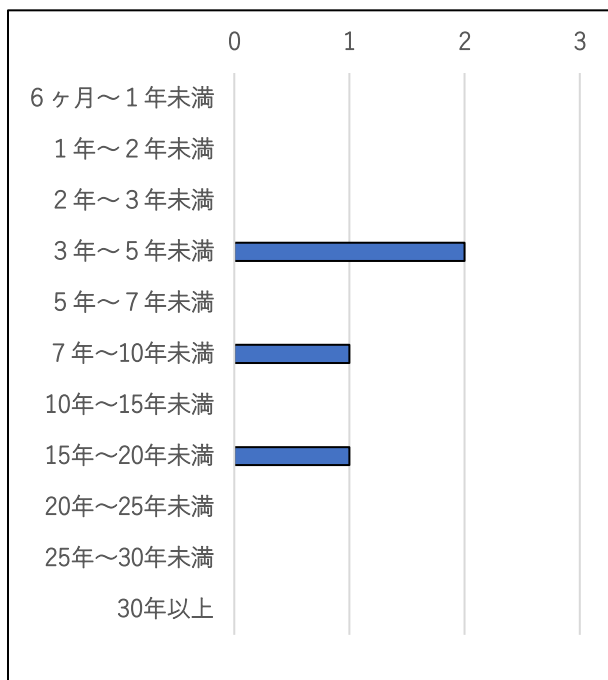


項目	回答数	割合
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	2	40.0%
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	1	20.0%
自室からは出るが、家からは出ない	1	20.0%
自室からほとんど出ない	0	0.0%
1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない	1	20.0%
合計	5	100.0%

※Q28～Q31 の回答は Q27 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する」、「用事するときだけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した方（4名）が対象。

Q 28. その状態はどれくらい続きましたか。

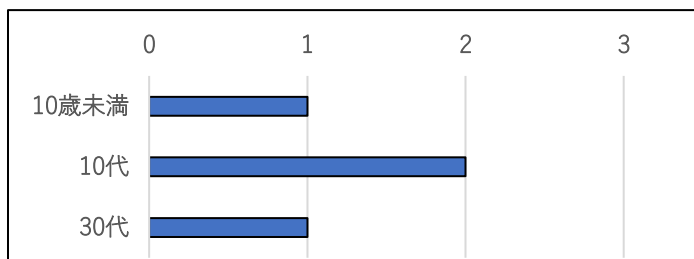
・「3年～5年未満」と回答した方が2名、「7年～10年未満」、「15年～20年未満」と回答した方が1名であった。



項目	回答数	割合
6ヶ月～1年未満	0	0.0%
1年～2年未満	0	0.0%
2年～3年未満	0	0.0%
3年～5年未満	2	50.0%
5年～7年未満	0	0.0%
7年～10年未満	1	25.0%
10年～15年未満	0	0.0%
15年～20年未満	1	25.0%
20年～25年未満	0	0.0%
25年～30年未満	0	0.0%
30年以上	0	0.0%
合計	4	100.0%

Q 29. 初めてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。（数字で具体的に）

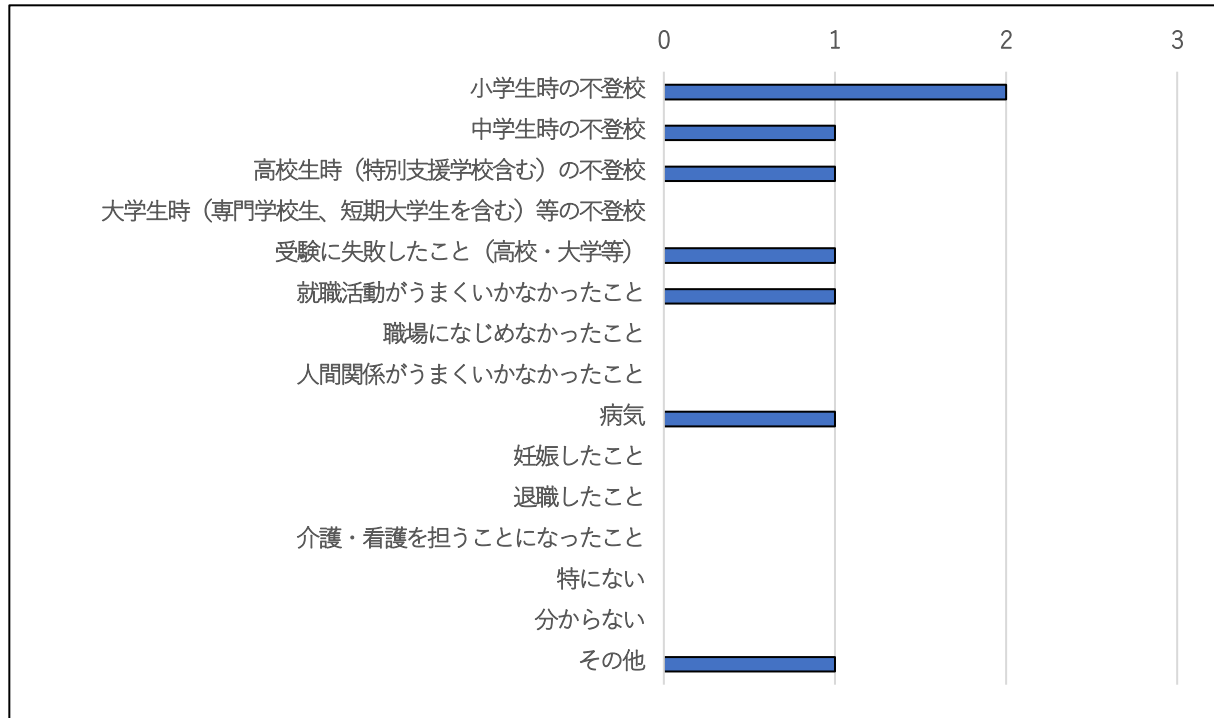
・「10代」が2名、「10歳未満」と「30代」が各1名であった。



項目	回答数	割合
10歳未満	1	25.0%
10代	2	50.0%
30代	1	25.0%
合計	4	100.0%

Q 30. その状態になったきっかけは何でしたか。（複数回答）

・「小学生時の不登校」が2名、「中学生時の不登校」、「高校生時（特別支援学校含む）の不登校」、「受験に失敗したこと（高校・大学等）」、「就職活動がうまくいかなかったこと」、「病気」が各1名となっている。



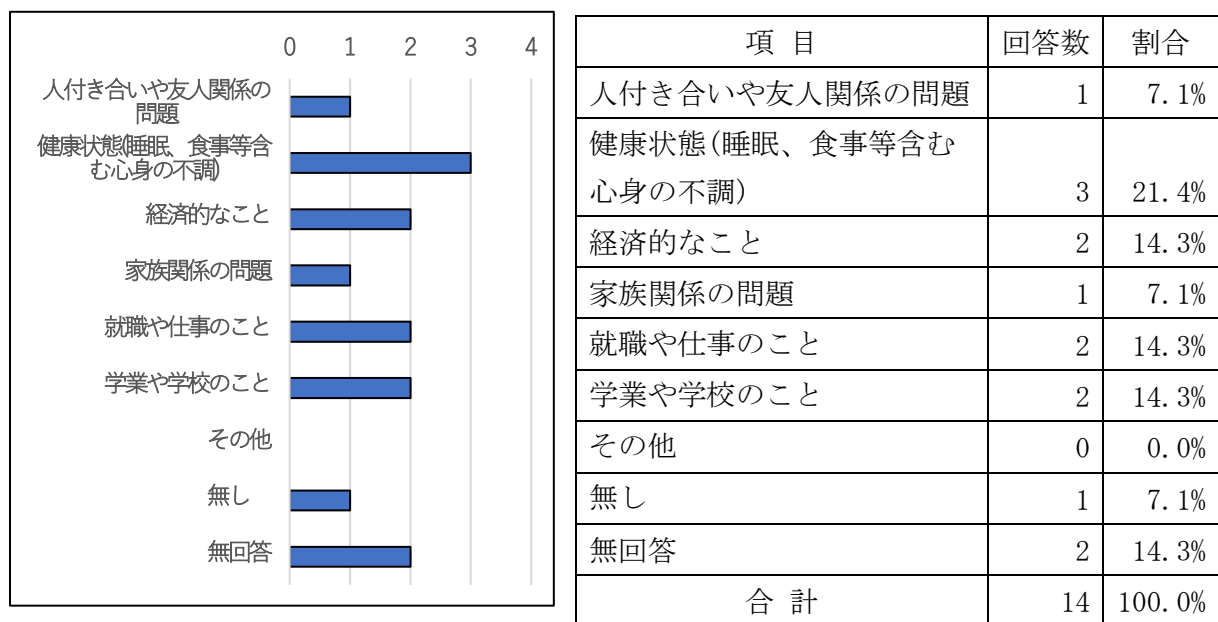
項目	回答数	割合
小学生時の不登校	2	25.0%
中学生時の不登校	1	12.5%
高校生時（特別支援学校含む）の不登校	1	12.5%
大学生時（専門学校生、短期大学生を含む）等の不登校	0	0.0%
受験に失敗したこと（高校・大学等）	1	12.5%
就職活動がうまくいかなかったこと	1	12.5%
職場になじめなかったこと	0	0.0%
人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0%
病気	1	12.5%
妊娠したこと	0	0.0%
退職したこと	0	0.0%
介護・看護を担うことになったこと	0	0.0%
特にない	0	0.0%
分からない	0	0.0%
その他 詳細（やりたい事があったが、どうすればいいのかわからなかった。）	1	12.5%
合計	8	100.0%

Q 31. その状態から、Q10 で回答した現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だと思えますか。ご自由にお書きください。また、相談した機関があればご記入ください。

- ・きっかけは、母親が色々な機関や団体に相談してくれたこと。役立ったというか、今の状態にまでこれたのは kukulu という場所に出会えたから。
- ・親族の助けで相談機関に行った事。
- ・ kukulu
- ・ sorae、就労支えん事業所

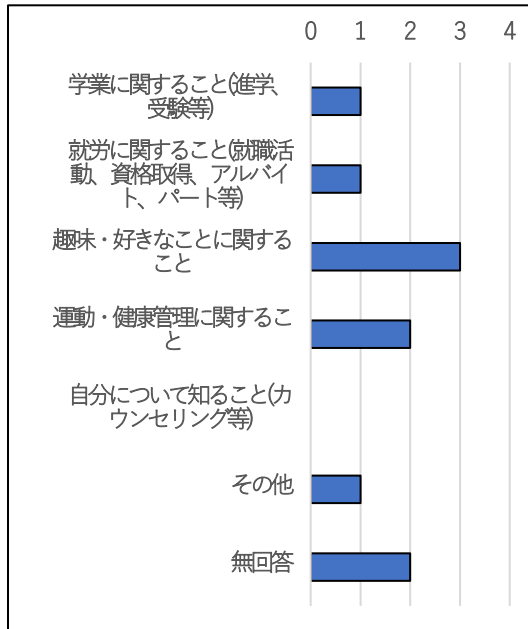
Q 32. 今、困っていることや気になっていることは何ですか。(複数回答)

・「健康状態(睡眠、食事等含む心身の不調)」が3名、「経済的なこと」、「就職や仕事のこと」、「学業や学校のこと」が各2名となっている。



Q 33. 今、興味があったり、やってみたいことは何ですか。(複数回答)

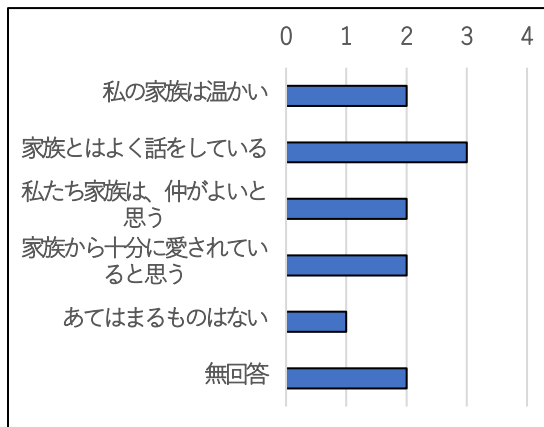
・「趣味・好きなことに関すること」が3名、「運動・健康管理に関すること」が2名、「学業に関すること(進学、受験等)」と「就労に関すること(就職活動、資格取得、アルバイト、パート等)」が各1名となっている



項目	回答数	割合
学業に関すること(進学、受験等)	1	10.0%
就労に関すること(就職活動、資格取得、アルバイト、パート等)	1	10.0%
趣味・好きなことに関すること	3	30.0%
運動・健康管理に関すること	2	20.0%
自分について知ること(カウンセリング等)	0	0.0%
その他		
詳細(特にない)	1	10.0%
無回答	2	20.0%
合計	10	100.0%

Q 34. 次に挙げられたことの中で、あなたのご家族にあてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

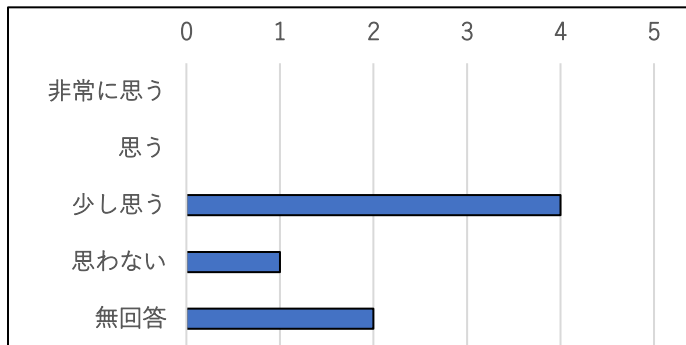
・「家族とはよく話をしている」と回答した方が3名、「私の家族は温かい」、「私たち家族は、仲がよいと思う」、「家族から十分に愛されていると思う」と回答した方がそれぞれ2名となっている。



項目	回答数	割合
私の家族は温かい	2	16.7%
家族とはよく話をしている	3	25.0%
私たち家族は、仲がよいと思う	2	16.7%
家族から十分に愛されていると思う	2	16.7%
あてはまるものはない	1	8.3%
無回答	2	16.7%
合計	12	100.0%

Q 35. あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。

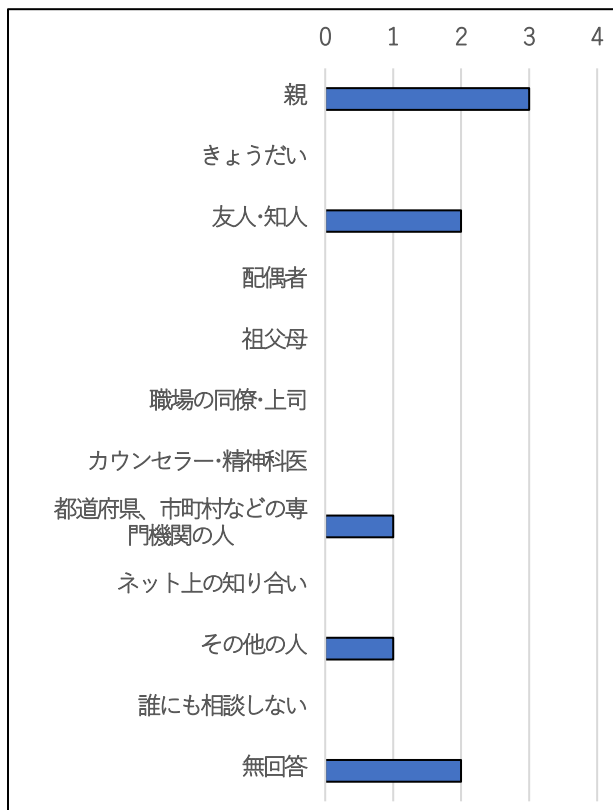
- ・「少し思う」と回答した方が4名、「思わない」と回答した方が1名であった。



項目	回答数	割合
非常に思う	0	0.0%
思う	0	0.0%
少し思う	4	57.1%
思わない	1	14.3%
無回答	2	28.6%
合計	7	100.0%

Q 36. あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。（複数回答）

- ・「親」、「友人・知人」、「都道府県、市町村などの専門機関の人」、「その他の人」と回答があった。



項目	回答数	割合
親	3	33.3%
きょうだい	0	0.0%
友人・知人	2	22.2%
配偶者	0	0.0%
祖父母	0	0.0%
職場の同僚・上司	0	0.0%
カウンセラー・精神科医	0	0.0%
都道府県、市町村などの専門機関の人	1	11.1%
ネット上の知り合い	0	0.0%
その他の人 詳細（いどこ）	1	11.1%
誰にも相談しない	0	0.0%
無回答	2	22.2%
合計	9	100.0%

Q 37. 現在、那覇市では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

- ・引きこもる人は引きこもるのが楽なので、心などに余裕がない人などがこもっているのでは、その気持ちがわからない親や他人が提案するのではなく、情報（ネットやテレビ アニメもできれば）をおいておくのがよいと思います。親は最低限のマナーをしっかりと教えればいい。
- ・支援は良い事だと思いますが、非常にデリケートな方もいるので十分な配慮の上で行ってほしい。
- ・支援を受けてうまくいった人達の実例を出す。

項目	回答数	割合
回答	3	42.9%
無回答	4	57.1%
合計	7	100.0%

Q 38. 現在や将来のことについて、不安に思うことはありますか。ご自由にお書きください。

- ・自分が本気でやりたいと思える仕事に就けるかちょっと不安です。
- ・不安ばかり

項目	回答数	割合
回答	2	28.6%
無回答	5	71.4%
合計	7	100.0%

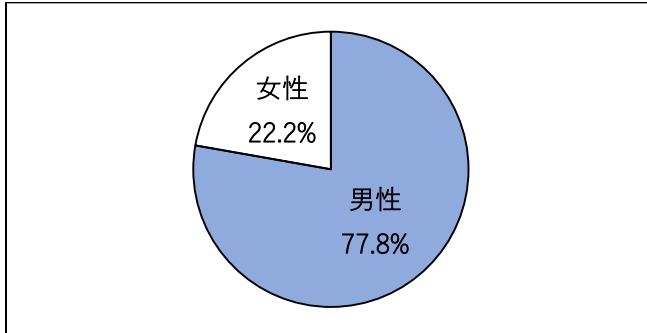
II 調査結果

2 家族

- ・配布数 210 件、有効回答数 9 件、回収率 4.3%。

Q 1. 対象者の性別をお答えください。

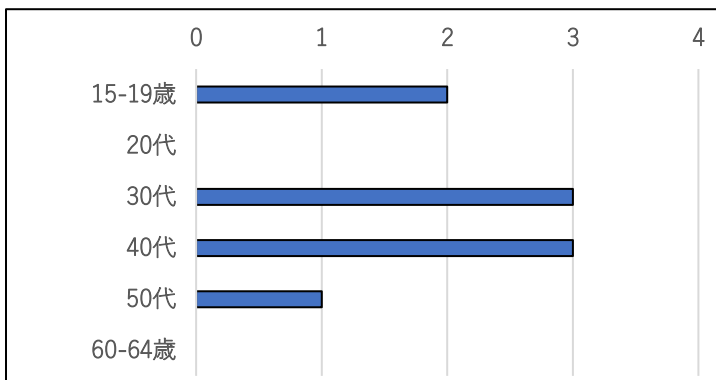
- ・「男性」が 7 名「女性」が 2 名となっている。



項目	回答数	割合
男性	7	77.8%
女性	2	22.2%
合計	9	100.0%

Q 2. 対象者の年齢をお答えください。

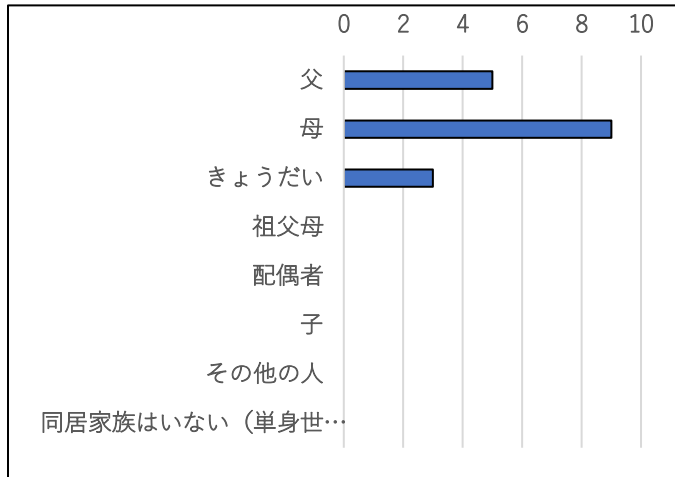
- ・「30代」と「40代」が各 3 名、「15-19 歳」が 2 名、「50代」が 1 名となっている。



項目	回答数	割合
15-19 歳	2	22.2%
20 代	0	0.0%
30 代	3	33.3%
40 代	3	33.3%
50 代	1	11.1%
60-64 歳	0	0.0%
合計	9	100.0%

Q 3. 現在、対象者と同居している方について、対象者から見て該当するものに○をつけてください。(複数回答)

・「母」が9名、「父」が5名、「きょうだい」が3名となっている。

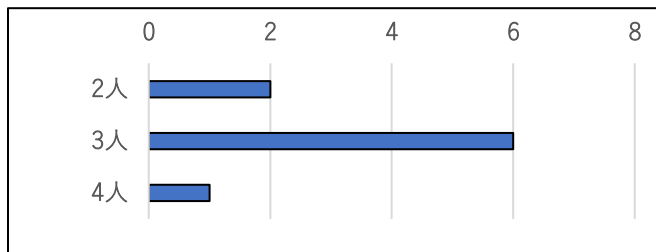


※回答者数を母数として割合を算出しています。

項目	回答数	割合
父	5	55.6%
母	9	100.0%
きょうだい	3	33.3%
祖父母	0	0.0%
配偶者	0	0.0%
子	0	0.0%
その他の人	0	0.0%
同居家族はいない (単身世帯)	0	0.0%
合計	17	188.9%

Q 4. 現在、同居している人は合計で何人ですか。対象者も含めた人数を記入してください。(数字で具体的に)

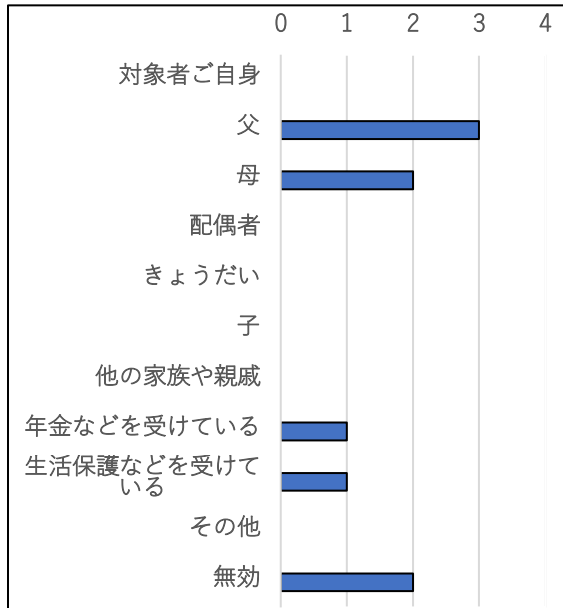
・「3人」が6名、「2人」が2名、「4人」が1名となっている。



項目	回答数	割合
2人	2	22.2%
3人	6	66.7%
4人	1	11.1%
合計	9	100.0%

Q 5. 対象者の家の生計を立てているのは、主に対象者から見てどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、対象者が、主に仕送りで生計を立てている場合は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。

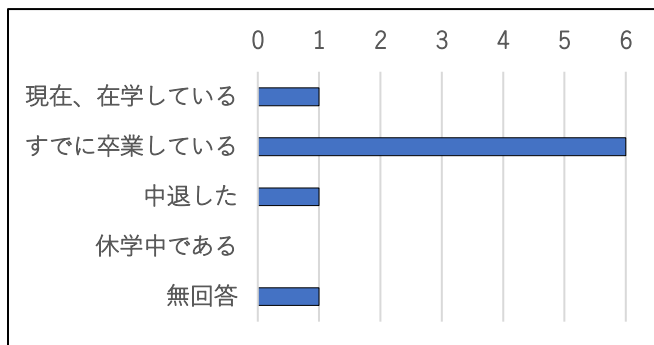
- ・生計を立てているのは「父」が3名、「母」が2名、「年金などを受けている」と「生活保護などを受けている」が各1名となっている。



項目	回答数	割合
対象者ご自身	0	0.0%
父	3	33.3%
母	2	22.2%
配偶者	0	0.0%
きょうだい	0	0.0%
子	0	0.0%
他の家族や親戚	0	0.0%
年金などを受けている	1	11.1%
生活保護などを受けている	1	11.1%
その他	0	0.0%
無効	2	22.2%
合計	9	100.0%

Q 6. 対象者は現在、学校に通っていますか。

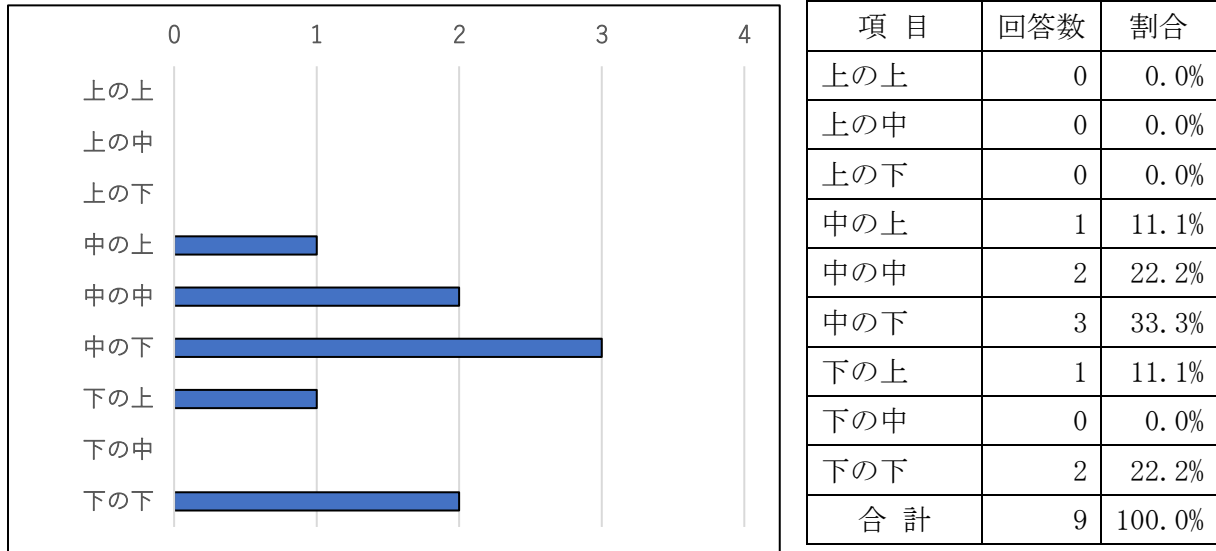
- ・「すでに卒業している」が6名、「現在、在学している」と「中退した」が各1名となっている。



項目	回答数	割合
現在、在学している	1	11.1%
すでに卒業している	6	66.7%
中退した	1	11.1%
休学中である	0	0.0%
無回答	1	11.1%
合計	9	100.0%

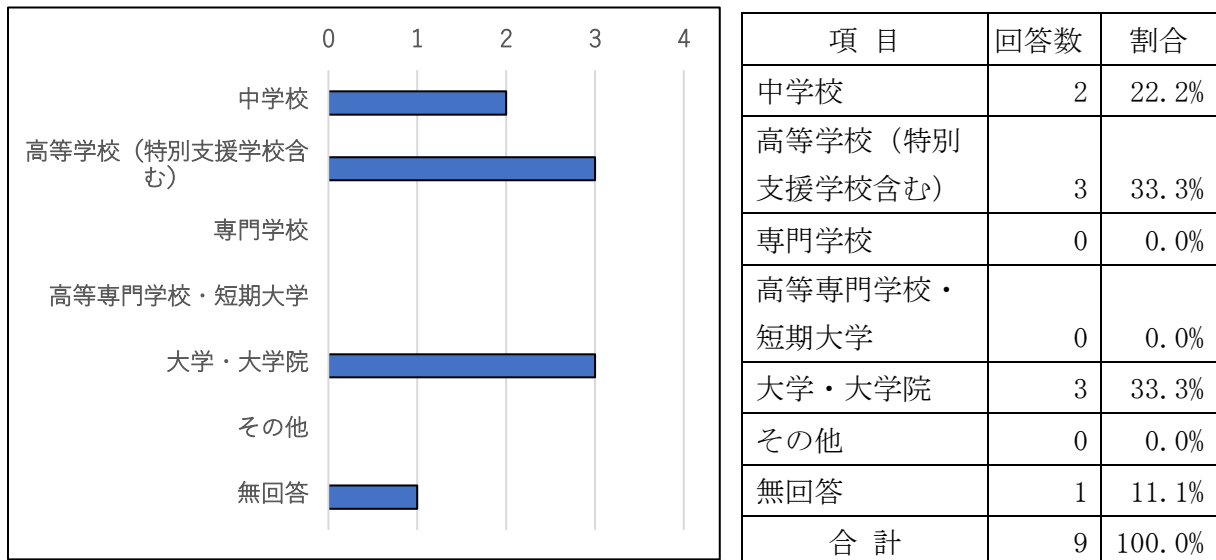
Q 7. 対象者の家の暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上の上から下の下までのどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください。

- ・「中の下」が3名、「中の中」、「下の下」が各2名となっている。



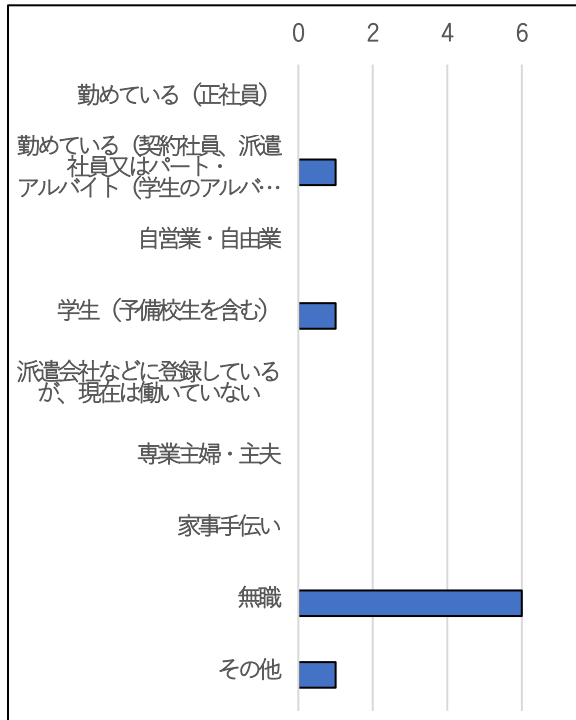
Q 8. 対象者が最後に卒業（中退を含む）した、または現在、在学している学校はどれですか。

- ・「中学校」が2名、「高等学校（特別支援学校含む）」が3名、「大学・大学院」が3名となっている。



Q 9. 対象者の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。

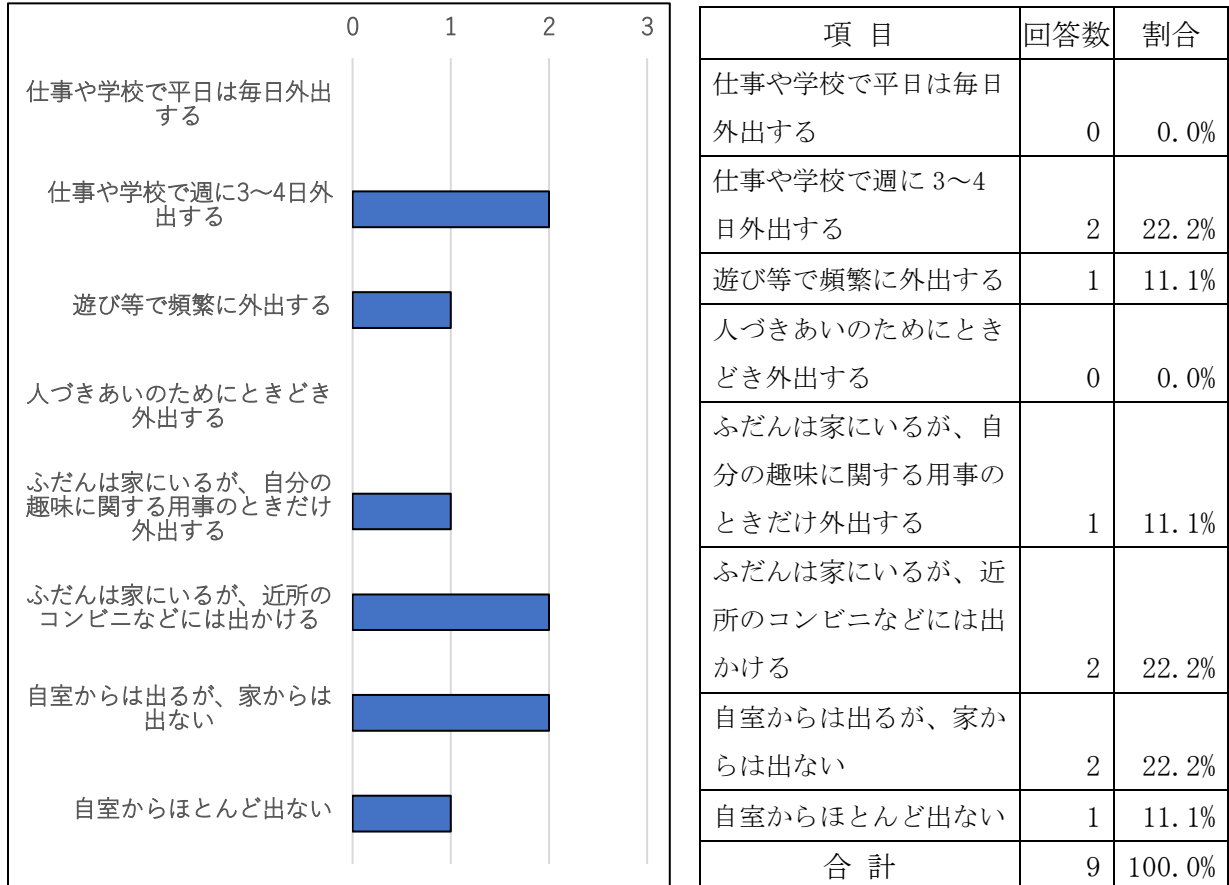
・「無職」が6名、「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）」、「学生（予備校生を含む）」、「その他」が各1名となっている。



項目	回答数	割合
勤めている（正社員）	0	0.0%
勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））	1	11.1%
自営業・自由業	0	0.0%
学生（予備校生を含む）	1	11.1%
派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない	0	0.0%
専業主婦・主夫	0	0.0%
家事手伝い	0	0.0%
無職	6	66.7%
その他	1	11.1%
合計	9	100.0%

Q 10. 対象者は、ふだんどのくらい外出しますか。

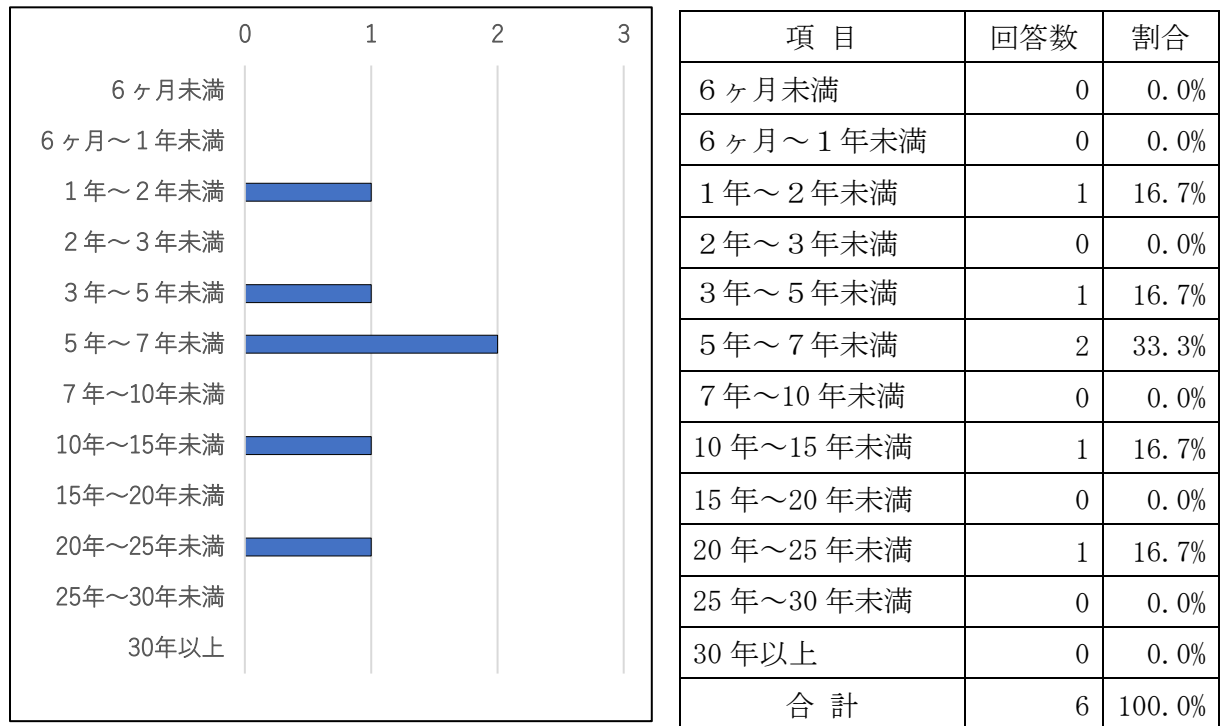
・外出頻度としては「仕事や学校で週に3~4日外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」が各2名、「遊び等で頻繁に外出する」、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「自室からほとんど出ない」が1名となっている。



※Q11～Q17の回答は、Q10で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のおきだけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した方(6名)が対象。

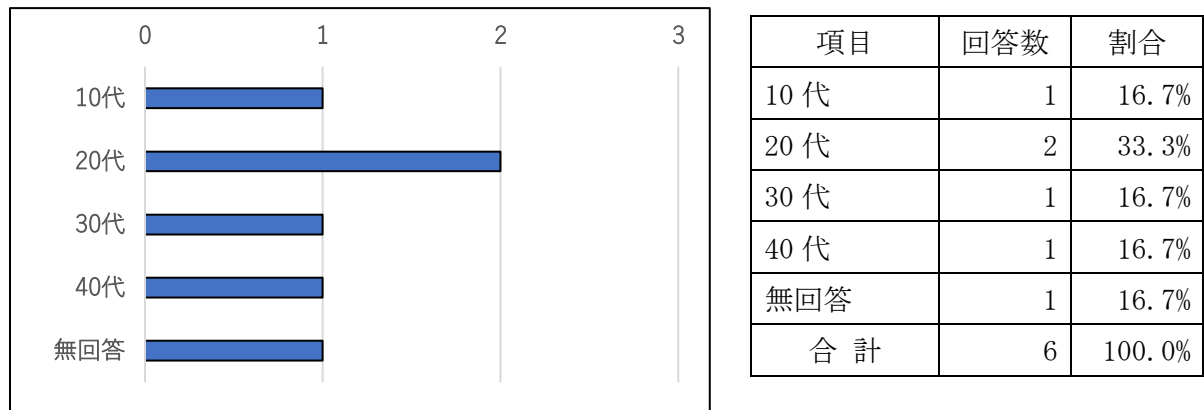
Q 11. 対象者が、現在の状態となってどのくらい経ちますか。

・「5年～7年未満」が2名、「1年～2年未満」、「3年～5年未満」「10年以上15年未満」「20年～25年未満」の方は各1名となっている。



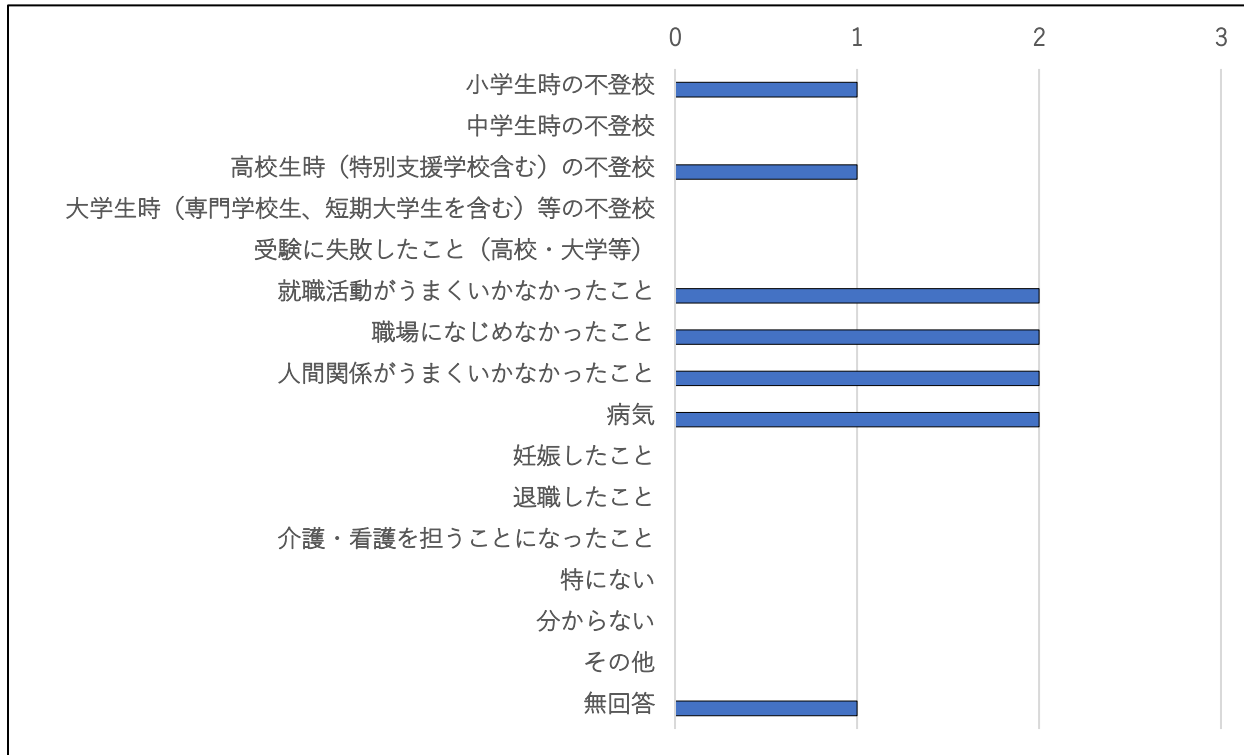
Q 12. 初めて現在の状態になったのは、対象者が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

・20代が2名、10代、30代、40代は各1名となっている。



Q 13. 対象者が現在の状態になったきっかけは何ですか。（複数回答）

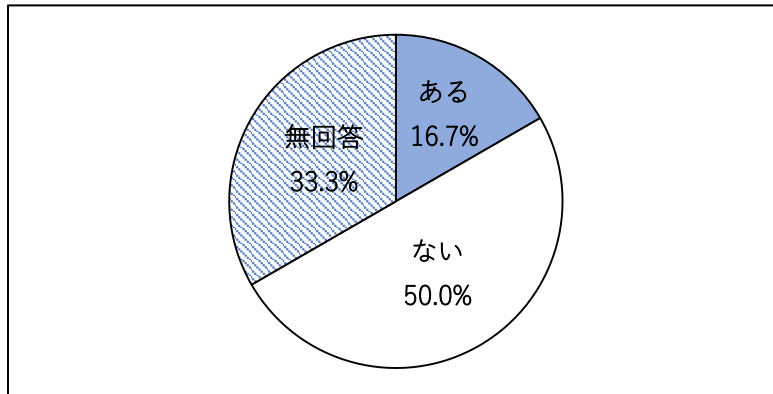
・「就職活動がうまくいかなかったこと」、「職場になじめなかったこと」、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「病気」が各2名、「小学生時の不登校」と「高校生時（特別支援学校含む）の不登校」が各1名となっている。



項目	回答数	割合
小学生時の不登校	1	9.1%
中学生時の不登校	0	0.0%
高校生時（特別支援学校含む）の不登校	1	9.1%
受験に失敗したこと（高校・大学等）	0	0.0%
就職活動がうまくいかなかったこと	2	18.2%
職場になじめなかったこと	2	18.2%
人間関係がうまくいかなかったこと	2	18.2%
病気	2	18.2%
妊娠したこと	0	0.0%
退職したこと	0	0.0%
介護・看護を担うことになったこと	0	0.0%
特にない	0	0.0%
分からない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	9.1%
合計	11	100.0%

Q 14. 現在の状態について、対象者ご自身が関係機関に相談したことはありますか。

・「ない」が3名、「ある」は1名となっている。



項目	回答数	割合
ある	1	16.7%
ない	3	50.0%
無回答	2	33.3%
合計	6	100.0%

※Q15の回答は、Q14で「ある」と回答した方（1名）が対象

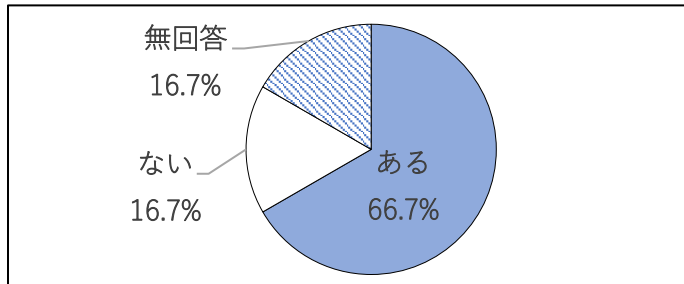
Q 15. 相談したことのある機関に○をつけてください。（複数回答）

・「生活保護担当課」と回答した方が1名となっている。

項目	回答数	割合
生活保護担当課（那覇市保護課）	1	100.0%
障害福祉担当課（那覇市障がい福祉課）	0	0.0%
職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関（地域若者サポートステーション琉球、沖縄県おしごと応援センターOne×One 等）	0	0.0%
保健所・保健センター（那覇市）	0	0.0%
精神保健福祉センター（沖縄県）	0	0.0%
病院・診療所	0	0.0%
発達障害者支援センター（「がじゅま〜る」）	0	0.0%
ひきこもり地域支援センター（沖縄県ひきこもり専門支援センター）	0	0.0%
子ども・若者総合相談センター（子ども若者みらい相談プラザ sorae（ソラエ））	0	0.0%
地域包括支援センター	0	0.0%
生活困窮者向けの相談窓口（那覇市就職・生活支援パーソナルサポートセンター等）	0	0.0%
社会福祉協議会	0	0.0%
当事者の会・家族会	0	0.0%
上記以外の民間の相談機関・支援機関（NPO 等）	0	0.0%
その他の施設・機関	0	0.0%
合計	1	100.0%

Q 16. 現在の状態について、対象者と同居されている方が関係機関に相談したことはありますか。

・「ある」と回答した方が4名、「ない」と回答した方が1名となっている。

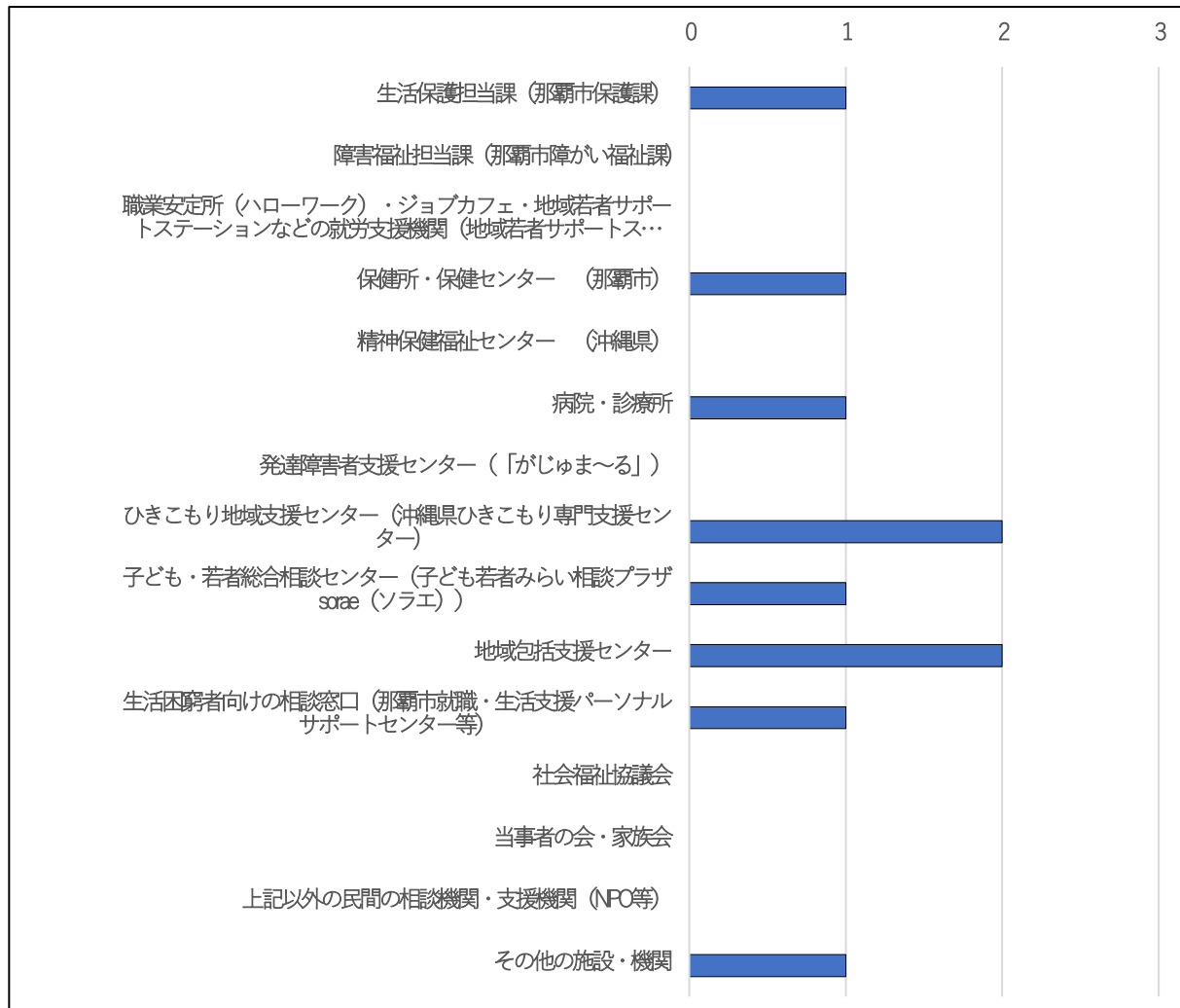


項目	回答数	割合
ある	4	66.7%
ない	1	16.7%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

※Q17、Q18の回答は、Q16で「ある」と回答した方（4名）が対象

Q 17. 相談したことのある機関に○をつけてください。（複数回答）

・「ひきこもり地域支援センター」、「地域包括支援センター」が各2名、「生活保護担当課」、「保健所・保健センター」、「病院・診療所」、「子ども・若者総合相談センター」、「生活困窮者向けの相談窓口」、「その他」が各1名となっている。



項目	回答数	割合
生活保護担当課（那覇市保護課）	1	10.0%
障害福祉担当課（那覇市障がい福祉課）	0	0.0%
職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関（地域若者サポートステーション琉球、沖縄県おしごと応援センターOne×One 等）	0	0.0%
保健所・保健センター（那覇市）	1	10.0%
精神保健福祉センター（沖縄県）	0	0.0%
病院・診療所	1	10.0%
発達障害者支援センター（「がじゅま〜る」）	0	0.0%
ひきこもり地域支援センター（沖縄県ひきこもり専門支援センター）	2	20.0%
子ども・若者総合相談センター（子ども若者みらい相談プラザ sorae（ソラエ））	1	10.0%
地域包括支援センター	2	20.0%
生活困窮者向けの相談窓口（那覇市就職・生活支援パーソナルサポートセンター等）	1	10.0%
社会福祉協議会	0	0.0%
当事者の会・家族会	0	0.0%
上記以外の民間の相談機関・支援機関（NPO 等）	0	0.0%
その他の施設・機関 詳細（相談支援事業所）	1	10.0%
合計	10	100.0%

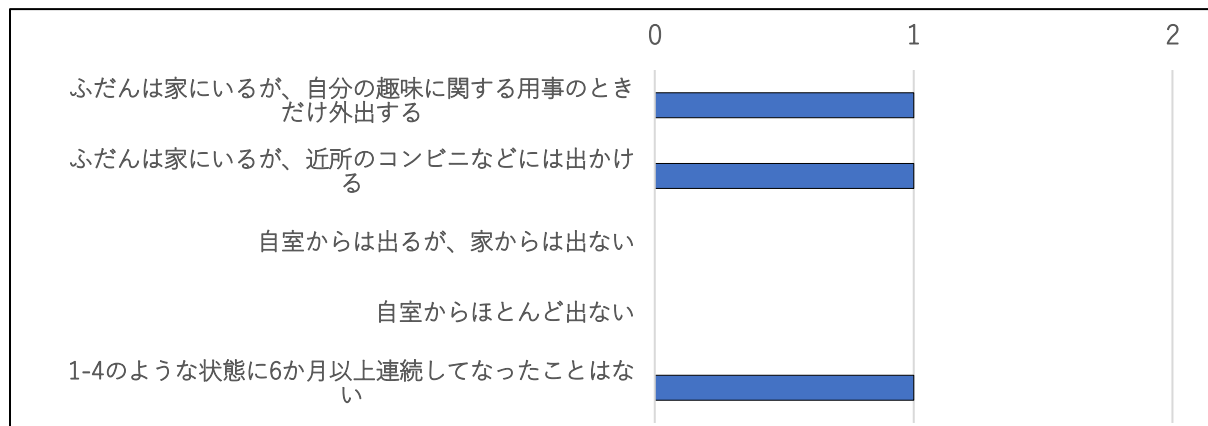
Q 18. 上記の機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

- ・ 6年前に那覇保健所に相談にいった。けれどもあまりいい感じではなくちゃんと聞いてもらえなかった。去年ひきこもり支援センターに電話してやっと動いてくれた。6年前に保健所がちゃんときいてくれていたらこんなに時間は要しなかったはず。6年前の保健所の対応にはがっかりだった。税金でご飯食べているのならちゃんと市民の相談や困り事には対応して向き合ってほしい。
- ・ 相談したことでとてもよかったです。とてもたすかっています。
- ・ 病院に行ってほしいが、声かけの仕方がわからない。

※Q19はQ10で「仕事や学校で平日は毎日外出する」、「仕事や学校で週に3～4日外出する遊び等で頻繁に外出する」、「人づきあいのためにときどき外出する」と回答した方（3名）が対象。

Q 19. 対象者は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。

- ・ 「自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」「近所のコンビニなどには出かける」、「1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない」が各1名となっている。

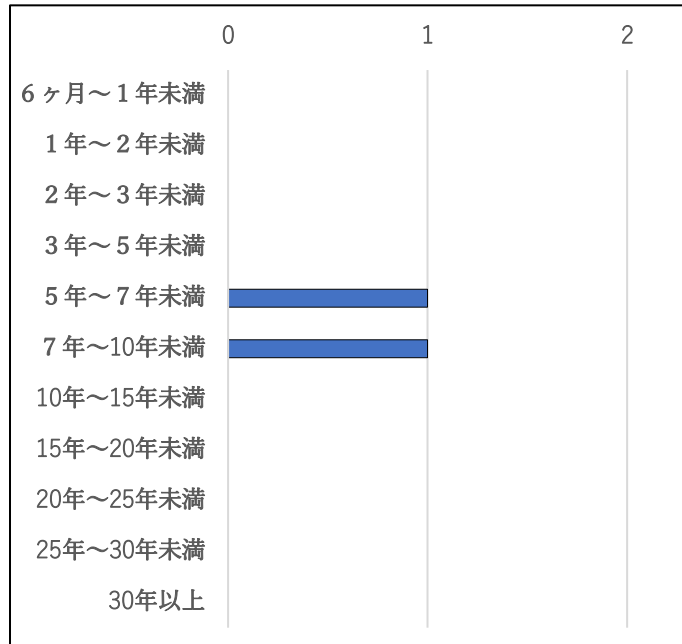


項目	回答数	割合
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する	1	33.3%
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	1	33.3%
自室からは出るが、家からは出ない	0	0.0%
自室からほとんど出ない	0	0.0%
1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない	1	33.3%
合計	3	100.0%

※Q20～Q22はQ19で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した方(2名)が対象

Q 20. その状態はどれくらい続きましたか。

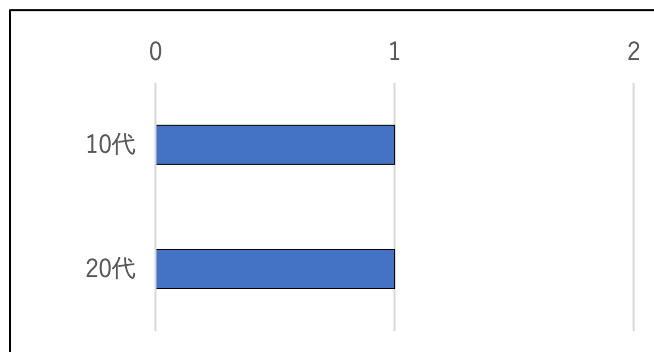
- ・「5年～7年未満」と「7年～10年未満」が各1名となっている。



項目	回答数	割合
6ヶ月～1年未満	0	0.0%
1年～2年未満	0	0.0%
2年～3年未満	0	0.0%
3年～5年未満	0	0.0%
5年～7年未満	1	50.0%
7年～10年未満	1	50.0%
10年～15年未満	0	0.0%
15年～20年未満	0	0.0%
20年～25年未満	0	0.0%
25年～30年未満	0	0.0%
30年以上	0	0.0%
合計	2	100.0%

Q 21. 初めてその状態になったのは、対象者が何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

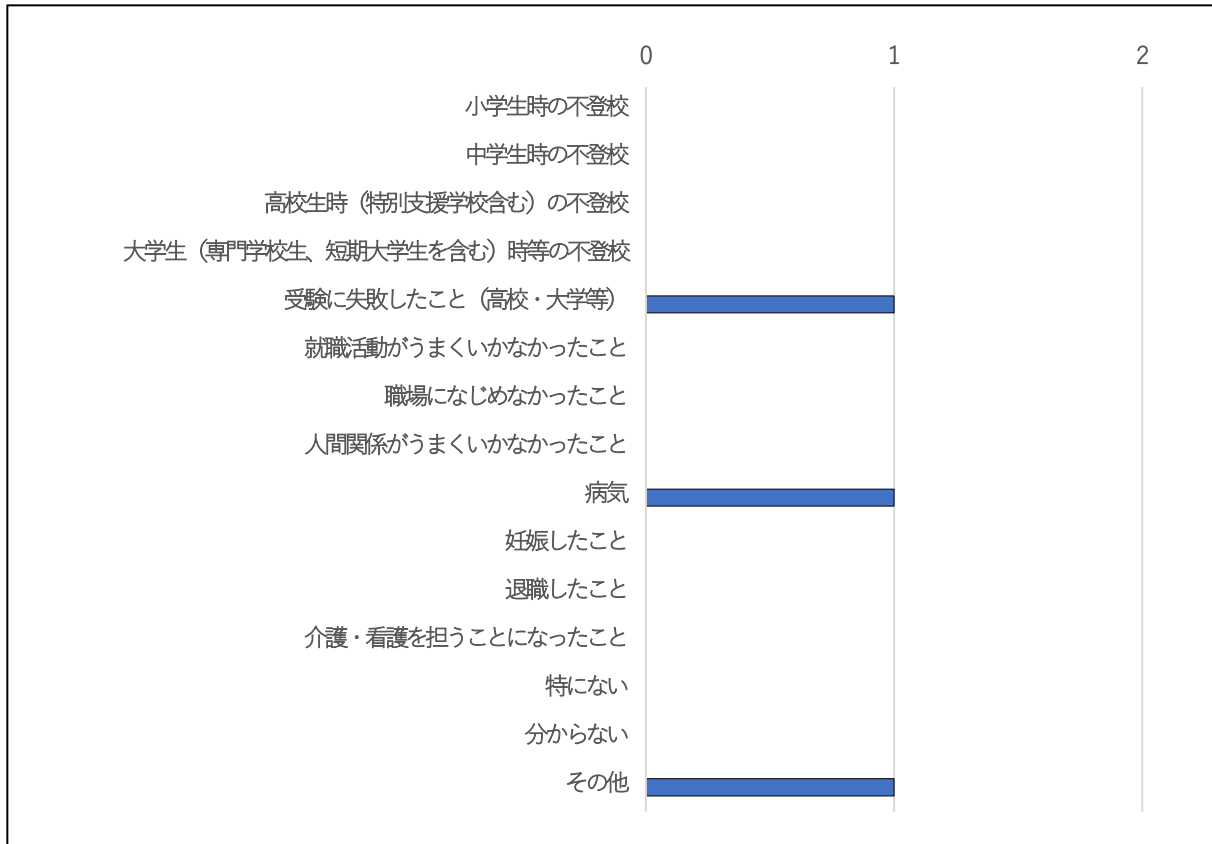
- ・「10代」と「20代」が各1名となっている。



項目	回答数	割合
10代	1	50.0%
20代	1	50.0%
合計	2	100.0%

Q 22. 対象者がその状態になったきっかけは何でしたか。(複数回答)

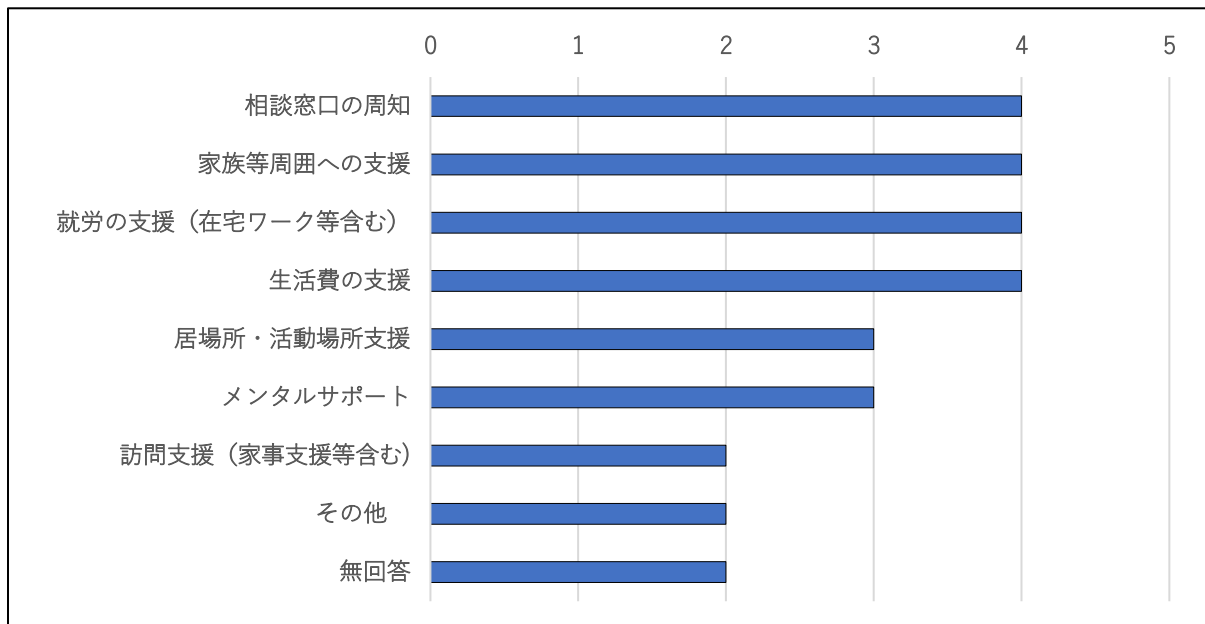
- ・「受験に失敗したこと」、「病気」、「その他」が各1名となっている。



項目	回答数	割合
小学生時の不登校	0	0.0%
中学生時の不登校	0	0.0%
高校生時 (特別支援学校含む) の不登校	0	0.0%
大学生 (専門学校生、短期大学生を含む) 時等の不登校	0	0.0%
受験に失敗したこと (高校・大学等)	1	33.3%
就職活動がうまくいかなかったこと	0	0.0%
職場になじめなかったこと	0	0.0%
人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0%
病気	1	33.3%
妊娠したこと	0	0.0%
退職したこと	0	0.0%
介護・看護を担うことになったこと	0	0.0%
特にない	0	0.0%
分からない	0	0.0%
その他	1	33.3%
合計	3	100.0%

Q 23. 現在、那覇市では、ひきこもり状態の方への支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、該当するものに○をつけてください。（複数回答）

・「相談窓口の周知」、「家族等周囲への支援」、「就労の支援（在宅ワーク等含む）」、「生活費の支援」が各4名、「居場所・活動場所支援」、「メンタルサポート」が各3名となっている。



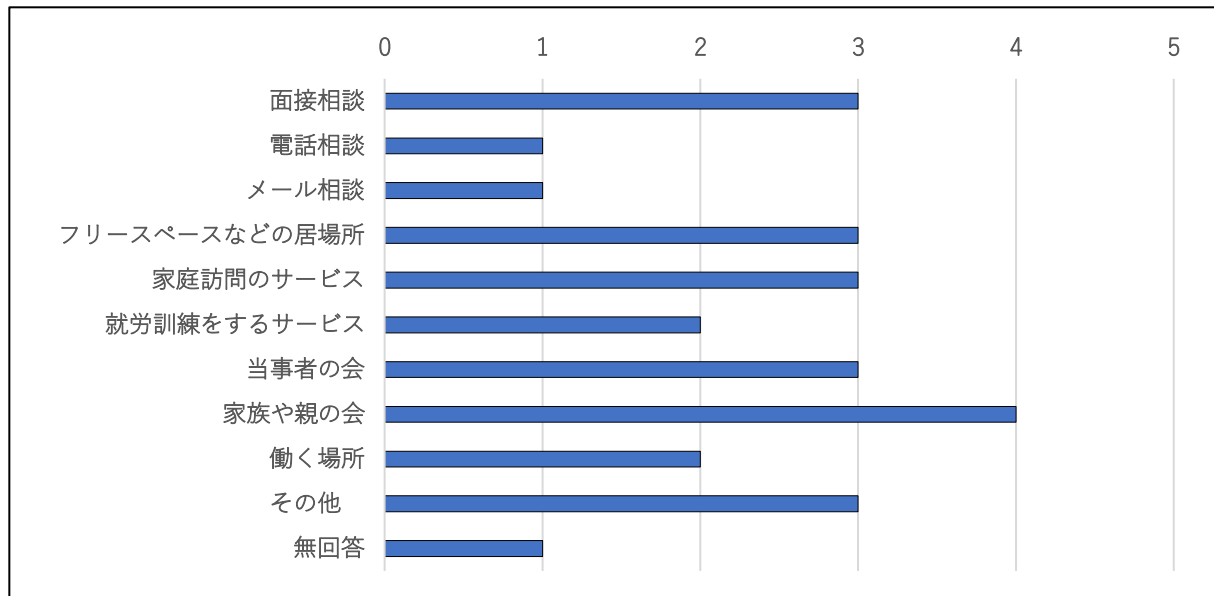
項目	回答数	割合
相談窓口の周知	4	14.3%
家族等周囲への支援	4	14.3%
就労の支援（在宅ワーク等含む）	4	14.3%
生活費の支援	4	14.3%
居場所・活動場所支援	3	10.7%
メンタルサポート	3	10.7%
訪問支援（家事支援等含む）	2	7.1%
その他 ※詳細は欄外記載	2	7.1%
無回答	2	7.1%
合計	28	100.0%

その他の詳細

- ・対象者が納得し、相談するよう、介入方向。
- ・当事者の方の体験談。どうやってひきこもりから抜け出せたのか…etcの情報。支援策を1つにまとめて、ひきこもりの方へ目をとめるように、いろんな方がいるかと思うので、漢字にフリガナとかもふっていただけるといいかと思います。

Q 24. 今、どのような支援を希望されますか。また、今後どのような支援を望まれますか。（複数回答）

・「家族や親の会」が4名、「面接相談」、「フリースペースなどの居場所」「家庭訪問のサービス」「当事者の会」「その他」が各3名となっている。



項目	回答数	割合
面接相談	3	11.5%
電話相談	1	3.8%
メール相談	1	3.8%
フリースペースなどの居場所	3	11.5%
家庭訪問のサービス	3	11.5%
就労訓練をするサービス	2	7.7%
当事者の会	3	11.5%
家族や親の会	4	15.4%
働く場所	2	7.7%
その他 ※詳細は欄外記載	3	11.5%
無回答	1	3.8%
合計	26	100.0%

その他の詳細

- ・孤立しないように相談機関には定期的に連絡して欲しい。家族も話を聞いてくれるだけでも救われる（人それぞれだと思いますが）。不登校時相談機関へ本人を連れて行くのにとっても苦労した。
- ・本人に就労訓練サービスを受ける様すすめるもその気になってくれない。コロナ収束後に本人と調整して関連機関に相談したい。

II 調査結果

3 那覇市民生委員・児童委員

・配布数 459 件、有効回答数 85 件、回収率 18.5%

Q 1. あなたの担当地区を選び、○で囲んでください。

・回収数は本庁地区が 21.7%と多く、次いで真和志地区、首里地区、小禄地区となっている。

・有効回答数 85 件について、回収数 143 件から、全て無回答 55 件と地区名記載あるが、無回答 3 件をひいたものとしている。

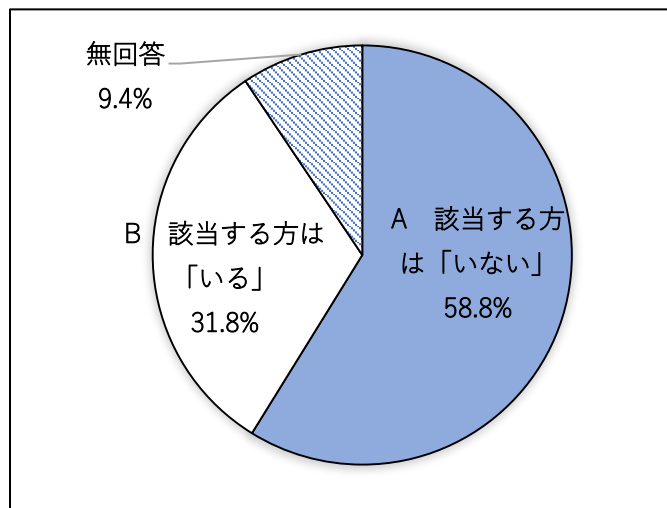


項目	回答数	地区別合計		
本庁	那覇第一	0	31	21.7%
	那覇第二	13		
	那覇第三	10		
	那覇第四	7		
	那覇第五	1		
真和志	真和志第一	3	27	18.9%
	真和志第二	3		
	真和志第三	3		
	真和志第四	12		
	真和志第五	6		
首里	首里第一	11	22	15.4%
	首里第二	4		
	首里第三	7		
小禄	小禄第一	6	8	5.6%
	小禄第二	1		
	小禄第三	1		
無回答	55	55	38.4%	
合計	143	143	100.0%	

Q 2. あなたの担当地域に、現在下記（1）（2）に該当する方はおられますか。

A、Bいずれか該当する項目を○で囲んでください。

・該当する方は「いない」と答えた方が58.8%、「いる」と答えた方は31.8%となっている。

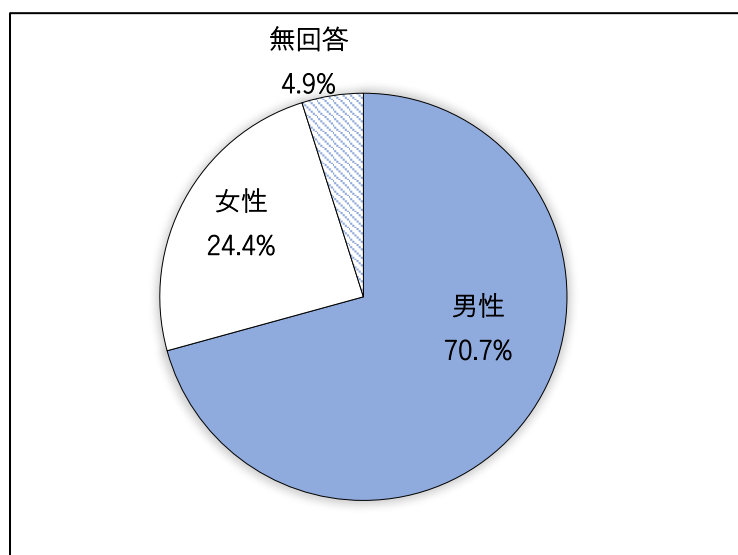


項目	回答数	割合
A 該当する方は「いない」	50	58.8%
B 該当する方は「いる」	27	31.8%
無回答	8	9.4%
合計	85	100.0%

Q 3. Q2で「いる」とお答えの場合、その状況を教えてください。

（1）当事者の性別

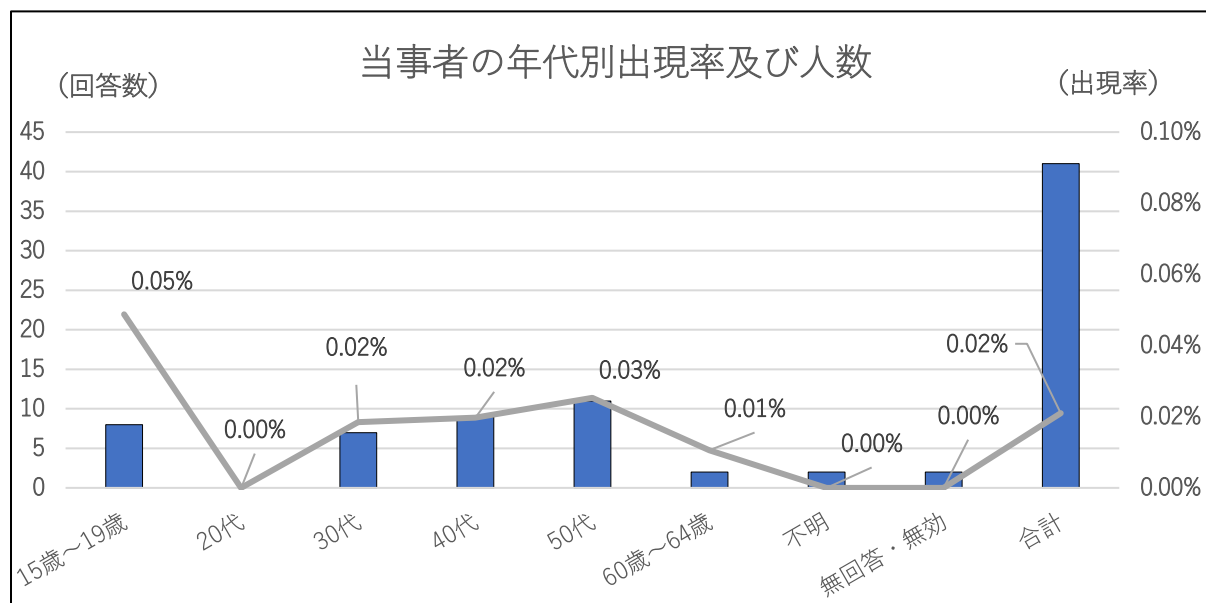
・男性が70.7%、女性が24.4%となっている。



項目	回答数	割合
女性	10	24.4%
男性	29	70.7%
無回答	2	4.9%
合計	41	100.0%

（２）当事者の年齢

・50代が26.8%と最も多いが、年代別の出現率としては15歳～19歳の年代が0.05%と最も多い。

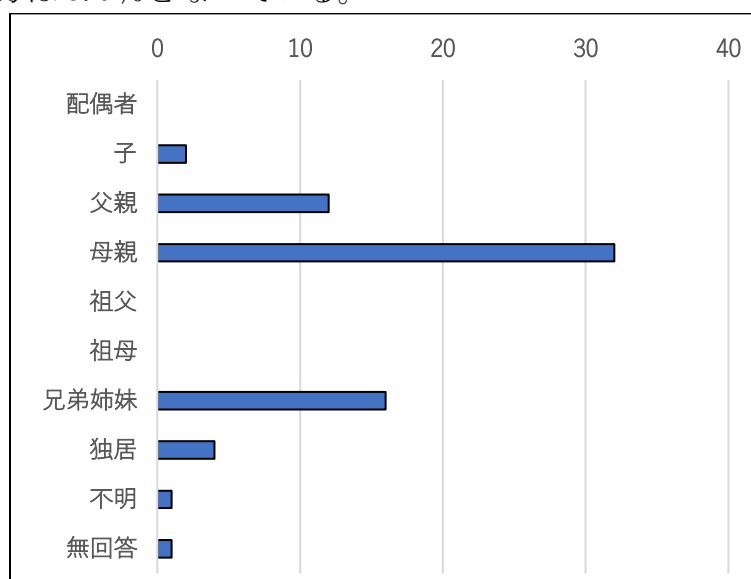


項目	回答数	割合	出現率	年齢層別人口 ^(注1)
15歳～19歳	8	19.5%	0.05%	16,398
20代	0	0.0%	0.00%	33,112
30代	7	17.1%	0.02%	37,942
40代	9	22.0%	0.02%	45,681
50代	11	26.8%	0.03%	43,470
60歳～64歳	2	4.9%	0.01%	18,873
不明	2	4.9%	-	-
無回答・無効	2	4.9%	-	-
合計	41	100.0%	0.02%	195,476

(注1) 那覇市統計情報 年齢層別人口 (令和3年12月末時点)

（3）当事者の家族構成（複数回答）

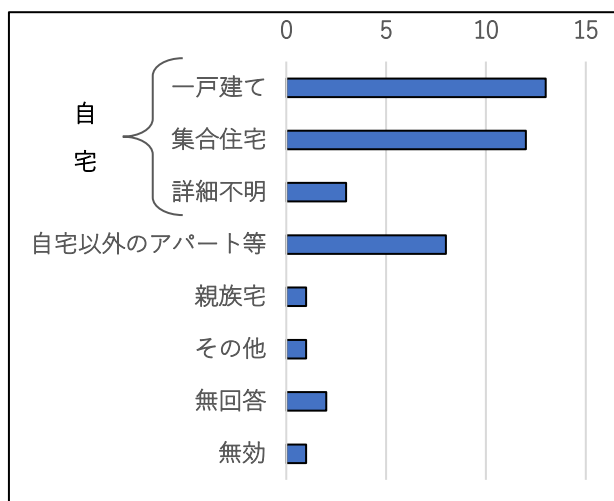
・母親と同居している方が多く、ついで兄弟姉妹、父となっている。独居と回答した方は5.9%となっている。



項目	回答数	割合
配偶者	0	0.0%
子	2	2.9%
父親	12	17.6%
母親	32	47.1%
祖父	0	0.0%
祖母	0	0.0%
兄弟姉妹	16	23.5%
独居	4	5.9%
不明	1	1.5%
無回答	1	1.5%
合計	68	100.0%

（4）住まい

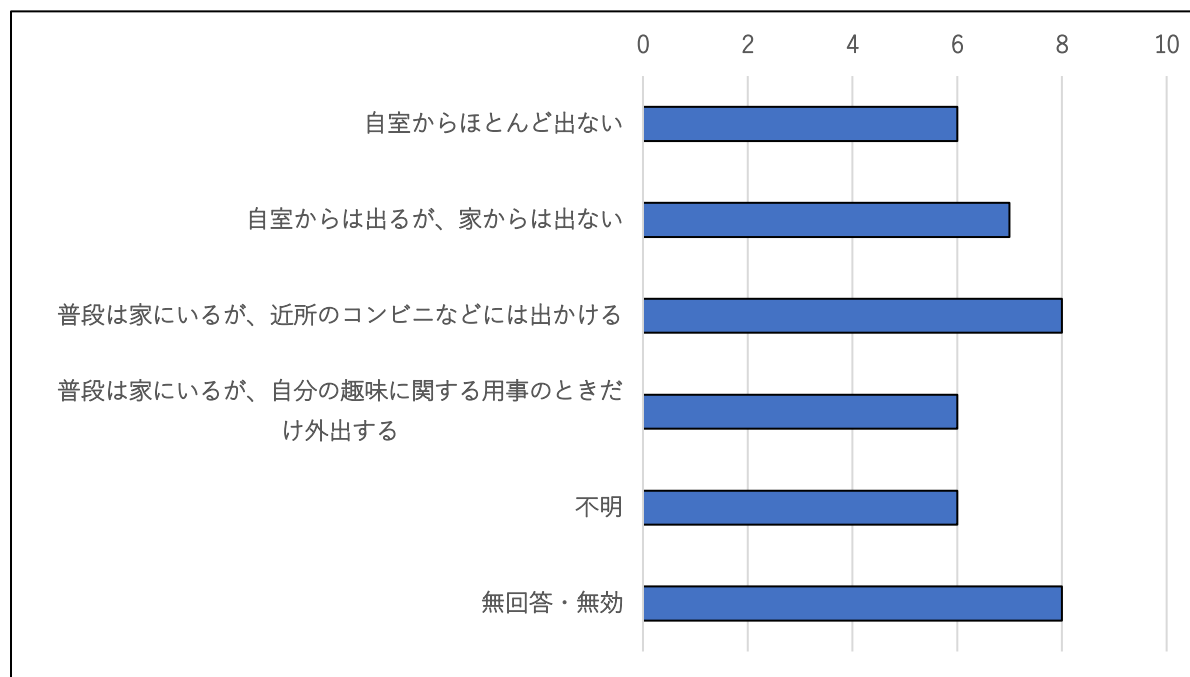
・住まいは自宅（一戸建て、集合住宅、詳細不明）が68.3%と最も多い。



項目	回答数	割合
自宅		
一戸建て	13	31.7%
集合住宅	12	29.3%
詳細不明	3	7.3%
自宅以外のアパート等	8	19.5%
親族宅	1	2.4%
その他	1	2.4%
無回答	2	4.9%
無効	1	2.4%
合計	41	100.0%

(5) 当事者の外出状況

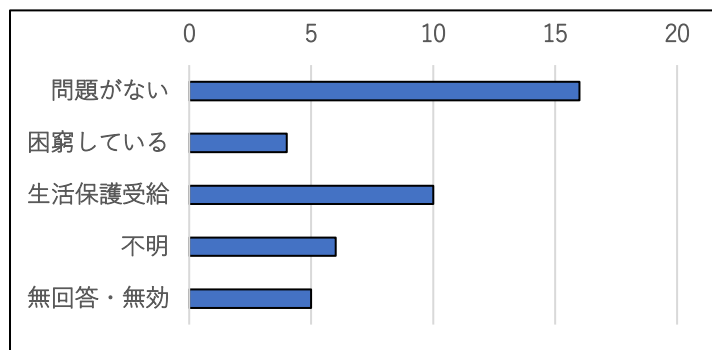
・「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が19.5%と最も多い。次いで、「自室からは出るが、家からは出ない」が17.1%、「自室からほとんど出ない」、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する」が14.6%となっている。



項目	回答数	割合
自室からほとんど出ない	6	14.6%
自室からは出るが、家からは出ない	7	17.1%
普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	8	19.5%
普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する	6	14.6%
不明	6	14.6%
無回答・無効	8	19.5%
合計	41	100.0%

（6）当事者および同居している家族（当事者世帯）の経済状態

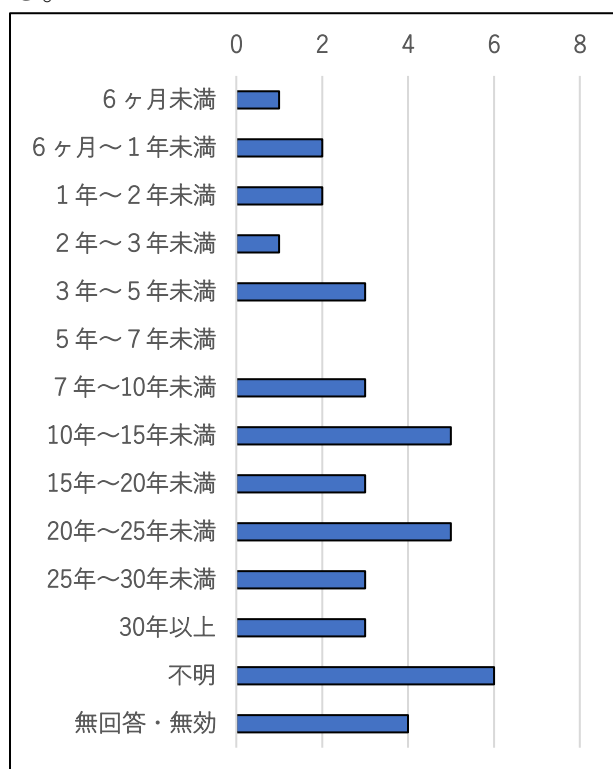
・「問題がない」が39.0%と最も多い。次いで「生活保護受給」は24.4%、「困窮している」が9.8%となっている。



項目	回答数	割合
問題がない	16	39.0%
困窮している	4	9.8%
生活保護受給	10	24.4%
不明	6	14.6%
無回答・無効	5	12.2%
合計	41	100.0%

（7）ひきこもっている期間

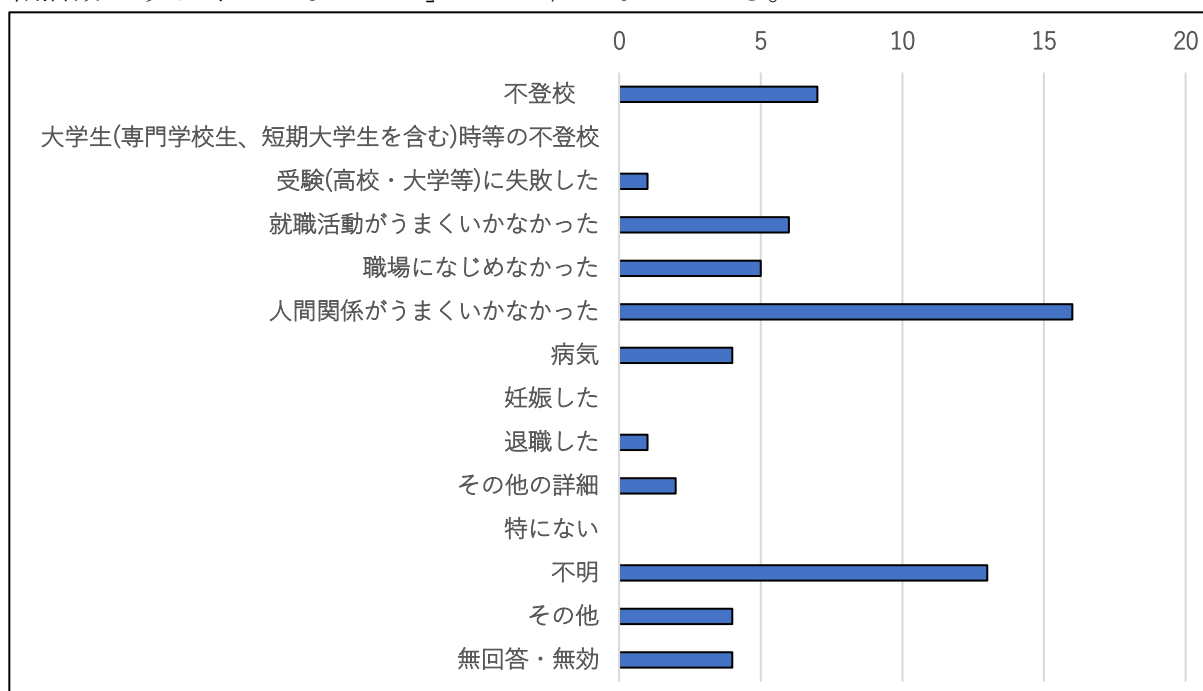
・「10年～15年未満」と「20年～25年未満」が各12.2%となっている。
 ・10年以上引きこもっているという方は46.3%、20年以上の方は26.8%となっている。



項目	回答数	割合
6ヶ月未満	1	2.4%
6ヶ月～1年未満	2	4.9%
1年～2年未満	2	4.9%
2年～3年未満	1	2.4%
3年～5年未満	3	7.3%
5年～7年未満	0	0.0%
7年～10年未満	3	7.3%
10年～15年未満	5	12.2%
15年～20年未満	3	7.3%
20年～25年未満	5	12.2%
25年～30年未満	3	7.3%
30年以上	3	7.3%
不明	6	14.6%
無回答・無効	4	9.8%
合計	41	100.0%

（8）ひきこもりに至った経緯（複数回答）

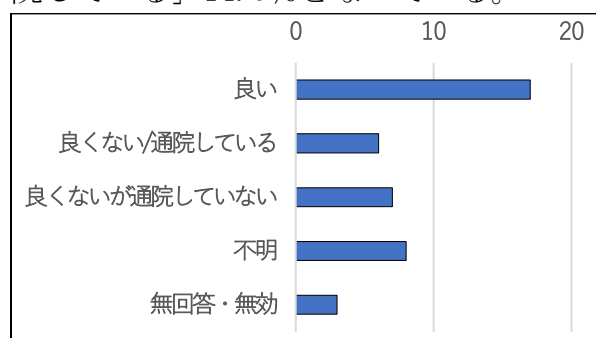
・「人間関係がうまくいかなかった」が25.4%と最も多く、「不登校」が11.1%、「就職活動がうまくいかなかった」が9.5%となっている。



項目		回答数	割合
不登校		7	11.1%
学生区分	小学生	(3)	-
	中学生	(3)	-
	高校生	(1)	-
大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校		0	0.0%
受験(高校・大学等)に失敗した		1	1.6%
就職活動がうまくいかなかった		6	9.5%
職場になじめなかった		5	7.9%
人間関係がうまくいかなかった		16	25.4%
病気		4	6.3%
妊娠した		0	0.0%
退職した		1	1.6%
介護・看護をになうことになった		2	3.2%
特にない		0	0.0%
不明		13	20.6%
その他			
詳細(コロナ禍で仕事を失った等)		4	6.3%
無回答・無効		4	6.3%
合計		63	100.0%

(9) 当事者の健康状態

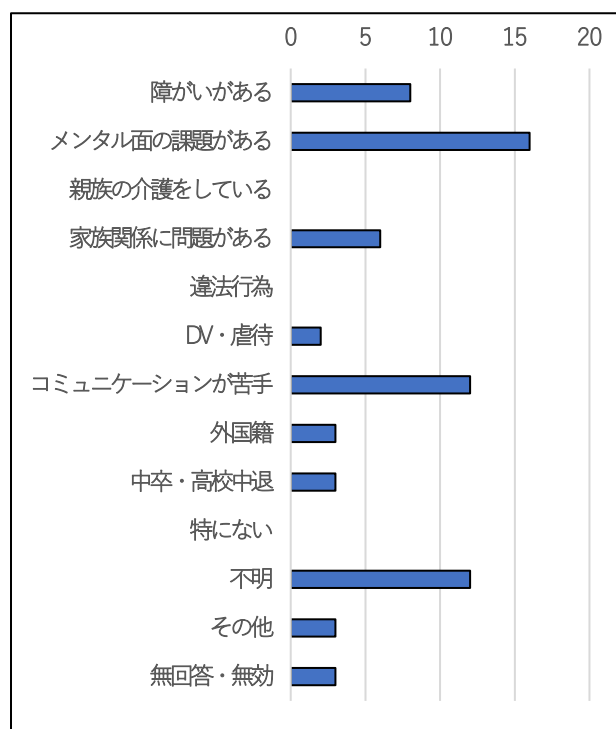
・「良い」が41.5%と多く、「良くないが通院していない」が17.1%、「良くない/通院している」14.6%となっている。



項目	回答数	割合
良い	17	41.5%
良くない/通院している	6	14.6%
良くないが通院していない	7	17.1%
不明	8	19.5%
無回答・無効	3	7.3%
合計	41	100.0%

(10) 当事者に関することについて（複数回答）

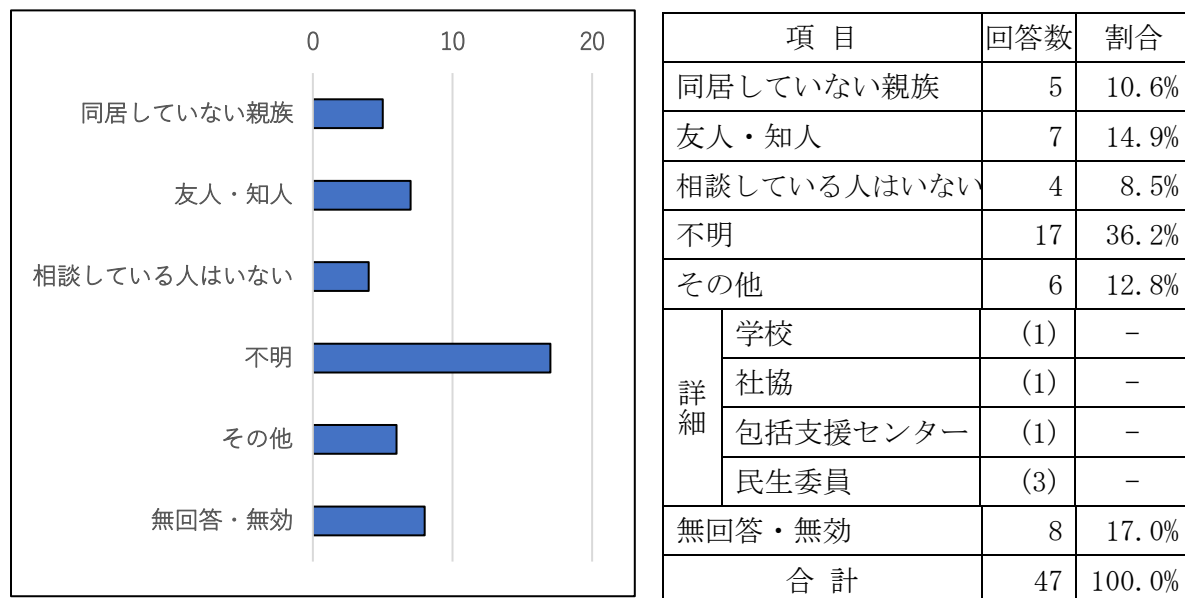
・「メンタル面の課題がある」が23.5%と最も多く、「コミュニケーションが苦手」が17.6%、「障がいがある」が11.8%となっている。



項目	回答数	割合
障がいがある	8	11.8%
メンタル面の課題がある	16	23.5%
親族の介護をしている	0	0.0%
家族関係に問題がある	6	8.8%
違法行為	0	0.0%
DV・虐待	2	2.9%
コミュニケーションが苦手	12	17.6%
外国籍	3	4.4%
中卒・高校中退	3	4.4%
特にない	0	0.0%
不明	12	17.6%
その他	3	4.4%
無回答・無効	3	4.4%
合計	68	100.0%

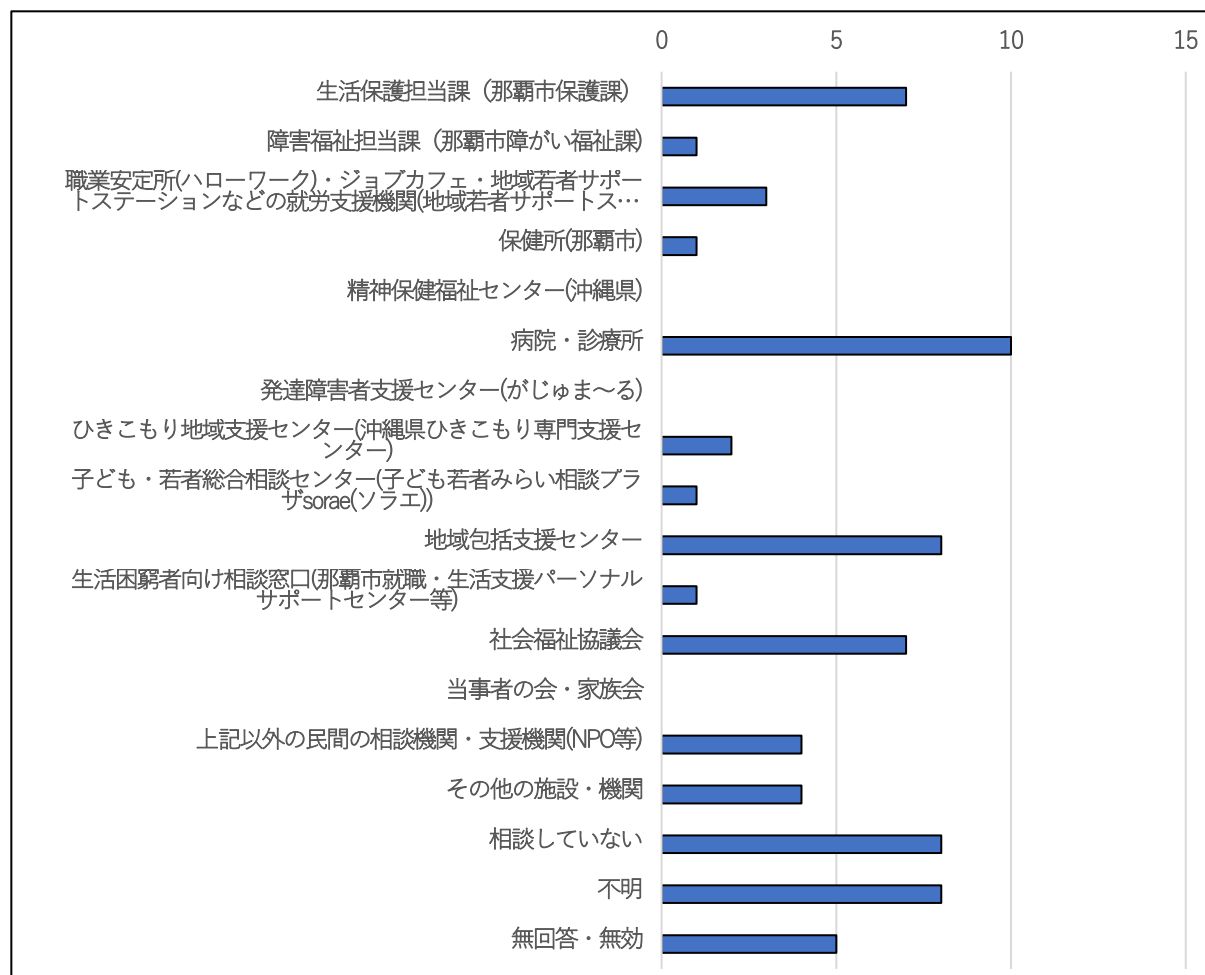
(11) 当事者または同居している家族が同居者以外で相談している人（複数回答）

・「友人・知人」が14.9%、「同居していない親族」が10.6%となっている。「相談している人はいない」は8.5%となっている。



(12) 当事者または同居している家族が相談した相談機関等（複数回答）

・「病院・診療所」が14.3%と最も多く、次いで「地域包括支援センター」、「相談していない」は11.4%、「生活保護担当課（那覇市保護課）」「社会福祉協議会」は10.0%になっている。



項目	回答数	割合
生活保護担当課（那覇市保護課）	7	10.0%
当事者	-	
家族 相談者詳細不明	(5) (2)	
障害福祉担当課（那覇市障がい福祉課）	1	1.4%
当事者	-	
家族 相談者詳細不明	- (1)	
職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関(地域若者サポートステーション琉球、沖縄県おしごと応援センターOne×One)	3	4.3%
当事者	-	
家族	(3)	
保健所(那覇市)	1	1.4%
当事者	-	
家族	(1)	

II 調査結果（那覇市民生委員・児童委員）

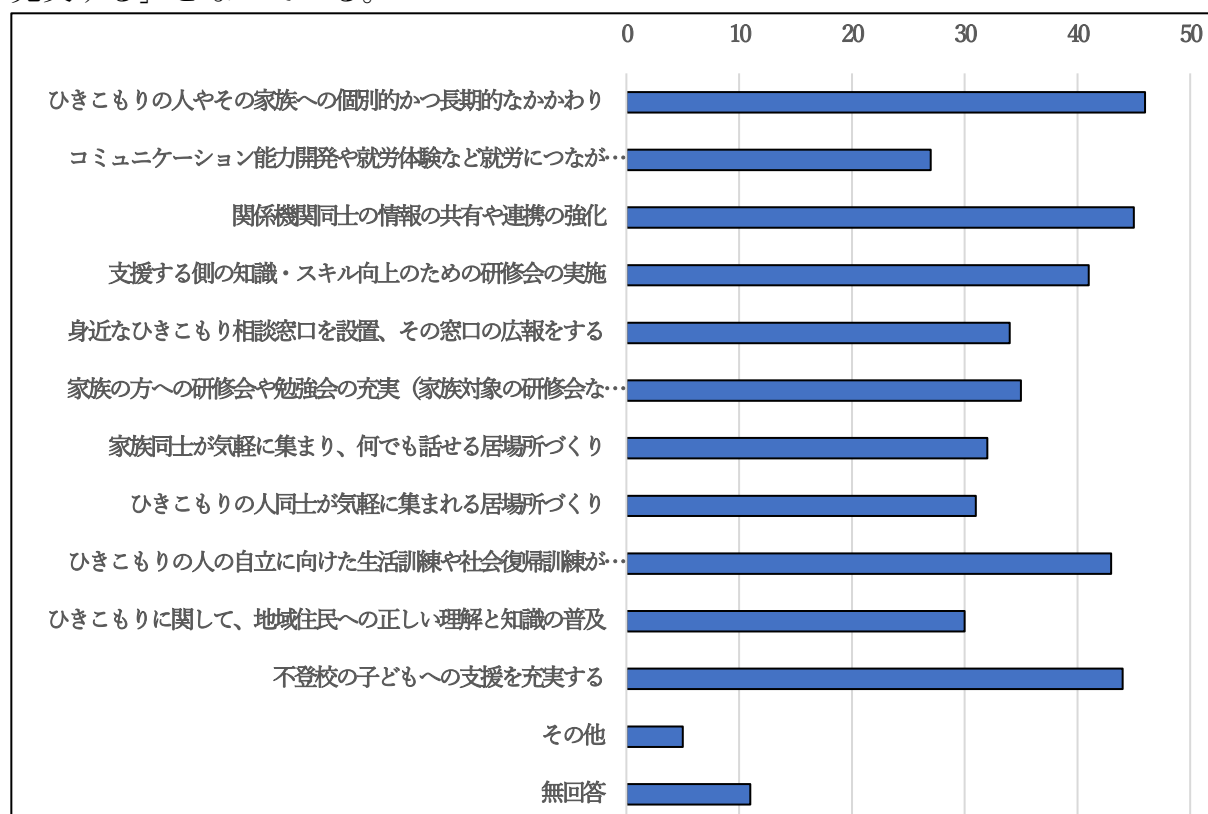
精神保健福祉センター(沖縄県)	0	
当事者	-	0.0%
家族	-	
病院・診療所	10	
当事者	(2)	14.3%
家族	(4)	
相談者詳細不明	(4)	
発達障害者支援センター(がじゅま〜る)	0	
当事者	-	0.0%
家族	-	
ひきこもり地域支援センター(沖縄県ひきこもり専門支援センター)	2	
当事者	(1)	2.9%
家族	(1)	
子ども・若者総合相談センター(子ども若者みらい相談プラザ sorae(ソラエ))	1	
当事者	-	1.4%
家族	(1)	
地域包括支援センター	8	
当事者	-	11.4%
家族	(8)	
生活困窮者向け相談窓口(那覇市就職・生活支援パーソナルサポートセンター等)	1	
当事者	-	1.4%
家族	(1)	
社会福祉協議会	7	
当事者	-	10.0%
家族	(6)	
相談者詳細不明	(1)	
当事者の会・家族会	0	
当事者	-	0.0%
家族	-	
上記以外の民間の相談機関・支援機関(NPO等)	4	
当事者	(3)	5.7%
家族	(1)	
その他の施設・機関	4	
警察	(1)	5.7%
小学校	(1)	
民生委員 児童委員	(2)	
相談していない	8	11.4%
不明	8	11.4%
無回答・無効	5	7.1%
合計	70	100.0%

(13) 気になる点、補足等を自由にご記入ください。

本人把握について	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者の実態について知るには家庭訪問の必要あり。 ・高校卒業した頃までにここにこしてあいさつも、やってたのにその後は、外に出る事がなく、よくわからない。 ・市教育委員会に情報提供したがその後はどうなったかは知らない。 ・本人が市外から転入してきたばかりで詳しくは分からない。
支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ若いので早く解決策を見つけてあげたいが、ドアを開けてくれない。 ・以前にはヘルパー、看護師の訪問あり。現在は断り、訪問無し。調理はみそ汁は作れると話す。尚困った事があればと問題なげかけるも大丈夫と返事あり。 ・行政に繋がりたいが本人が拒む。 ・本人がゴミを拾ってきて家の中にゴミが溜まる。ゴミの撤去に社協の協力を依頼したが本人の意志を尊重するとの事で進展はない。ゴミの撤去を母親は望んでいる。 ・本人の意思でひきこもっている。ひきこもり権利も？
本人・家族の状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・進学問題で先生とトラブルになり、アルバイトしながらがんばってましたが、服薬中断。今現在、母親は食事を配膳と自分の思いと日常の出来ごとを手紙に書いてのやりとり、顔をあわせていない様です。 ・30代あたりから働いてないようです。母親が脳梗塞で家事ができないので父親と一緒に買い物に出かける事もある。 ・7ヶ月前からデイサービスへ通所しているが家族は様子見の状態と話しており本調査に該当するか疑問だが参考のため回答します。 ・リモート？Netでお仕事はしているそうです。 ・家族間のコミュニケーションはあると思料する。庭の掃除は時々行っている。 ・高校生の頃までは友達もよく家に来て遊んでいた。 ・親子2人の生活。中学卒業後働いていない。母親が杖をつきながらの生活なので買物はすべて行っています。同居している母親は相談機関に行かれてないようです。 ・精神疾患のため家にいる事が多い。時には入院もある。月に3～4回コンビニに出かける事もある。 ・母親の話では、本人は健康である。ただどもりがひどくコミュニケーションが苦手で友人がいない。時々、母親をさそってウォーキング等をしている。自分で買物に行く。

Q 4. ひきこもりに関する支援策で、あなた自身の活動や行政に必要と思われるもの全てに○印をつけてください。（複数回答）

・「ひきこもりの人やその家族への個別のかつ長期的なかかわり」が10.8%と最も多く、次いで「関係機関同士の情報の共有や連携の強化」「不登校の子どもへの支援を充実する」となっている。



項目	回答数	割合
ひきこもりの人やその家族への個別のかつ長期的なかかわり	46	10.8%
コミュニケーション能力開発や就労体験など就労につながる支援の充実	27	6.4%
関係機関同士の情報の共有や連携の強化	45	10.6%
支援する側の知識・スキル向上のための研修会の実施	41	9.7%
身近なひきこもり相談窓口を設置、その窓口の広報をする	34	8.0%
家族の方への研修会や勉強会の充実（家族対象の研修会など家族が対応を学ぶ等）	35	8.3%
家族同士が気軽に集まり、何でも話せる居場所づくり	32	7.5%
ひきこもりの人同士が気軽に集まれる居場所づくり	31	7.3%
ひきこもりの人の自立に向けた生活訓練や社会復帰訓練ができる場所の充実	43	10.1%
ひきこもりに関して、地域住民への正しい理解と知識の普及	30	7.1%
不登校の子どもへの支援を充実する	44	10.4%
その他 ※詳細は欄外記載	5	1.2%
無回答	11	2.6%
合計	424	100.0%

その他の詳細、欄外意見

- ・対人関係が苦手な方なので、信頼関係を築く努力が求められる。
- ・親も何らかの病気を抱え、その子供さんの親子が外のかかわりが出来てないような家庭がある。
- ・市営住宅自治会の活動事例 男の映画鑑賞会。最初はなかなか観に来る人が少なく、来ても何も喋らない状況であったが、回を重ねるにつれ、少しずつ参加者が増えてきた。
- ・人権と支援のバランスをどのようにするか。
- ・小学校・中学校への早いうちから不登校支援をする。
- ・ひきこもっている方を見つけ出す事は難問だと思う。見つけたら→「個別のかつ長期的なかかわり」の支援策に繋げる→そこからその方には何が必要かをいっしょに考えてゆく。不登校のこどもへの支援を充実。初めての社会はこどもにとっては学校です。学校になじみにくい状態や環境を考えていくと問題点が見つかるかと思う。社会に出た時も社会になじみにくい大人が出てくる。不登校や引きこもりになった人が生きやすい世の中になってほしい。お互いがささえあう社会になってほしいです。
- ・ひきこもりしている方に対する経済支援が必要な場合、生活保護制度のような「ひきこもり保護制度」を構築できないか。
- ・市議会で課題等について議論し、支援策の予算を確保するなど積極的に取り組む。
- ・特に「個別のかつ長期的な関わり」「知識・スキル向上のための研修」「不登校の支援」は必要と思います。行政の支援策があれば民生委員も活動しやすいと思います。
- ・「ひきこもり」という言葉、何とかなりませんか。ネガティブすぎると思います。
- ・ひきこもりは家族ともかかわりを持たないと聞きます。上記の支援策は本当に必要と思いますが、むつかしい事でもあります。助ける目線じゃなく、苦しんでおられる方の側の目線が必要だと思います。

III まとめ

今回の調査には後述の限界はあるものの、ひきこもり本人、家族、那覇市民生委員・児童委員から希少で貴重な声を拾う事ができた。これらの声からは、継続的な支援や、相談窓口の周知、普及啓発、関係機関の連携、居場所の必要性など、厚生労働省の示すひきこもり支援施策の内容と同様のニーズがある可能性が示唆された。

※下記に調査結果を項目毎にまとめ、根拠となる調査結果については括弧内に記載。

1 継続的な支援

- ・ひきこもりのきっかけとしては不登校、受験、就職活動、人間関係、病気等様々な理由がある。(本人票 Q30、家族票 Q13、Q22、民生委員票 Q3 (8))
- ・ひきこもりの状態にある人はどの年代にもいることから、何歳からでも起こりうる可能性がある。(本人票 Q2、Q29、家族票 Q2、Q12、Q21)
- ・ひきこもり期間は長期化する場合もあることから、本人だけでなく、家族を孤立させないための継続的な支援が望まれる。(本人票 Q17、Q28、家族票 Q11、Q20、民生委員票 Q3 (7))

2 相談窓口の周知、情報提供、普及啓発

- ・本人の中には関係機関に相談していないという回答もあった。(家族票 Q14)
- ・ひきこもりの方はコミュニケーションの苦手さを抱えていることがあるため、相談機関へつながらないケースもある。(民生委員票 Q3 (10))
- ・家族は周囲の目を気にして問題を抱え込み、相談できずにいることもある。早期に支援に繋がるために、本人や家族に届くような、相談窓口の周知、情報提供、普及啓発のあり方を工夫していく。(本人票 Q37)

3 家族支援

- ・ひきこもりについて相談するのは家族の場合が多い。(民生委員票 Q3 (12))
- ・家族が相談してくれたことが社会参加のきっかけになった、という回答があることから家族への支援は重要であることがわかる。(本人票 Q31)
- ・本人世帯は経済面や就労、健康等様々な問題を抱えていることが多く、家族が相談した機関もひきこもり支援センターや地域包括支援センター、生活保護担当課、保健所、病院等、多岐にわたっていた。家族がどの機関に行っても支援に繋がるよう、関係機関でも相談先の共有や連携が必要であると考えられる。(家族票 Q17、民生委員票 Q3 (12))

4 経済面、就労面のサポート

- ・本人、家族が共通して相談していた関係機関に生活保護担当課があった。(家族票 Q15、Q17)
- ・本人が今、困っていることや気になっていることに「経済的なこと」、「就職や仕事のこと」と回答があった。(本人票 Q32)
- ・家族が求める支援のあり方の中にも「就労の支援（在宅ワーク等含む）」、「生活費の支援」の回答があることから経済面、就労面での不安があることがわかる。(家族票 Q23)
- ・今回の調査では家族が生計を立てていることが多いことから、現在は問題が無くても今後両親の高齢化に伴い困窮することが予想され、将来的には経済面の不安も切り離せない問題と考えられる。(家族票 Q5)

5 健康面のサポート

- ・本人が困っていることのひとつに「健康状態(睡眠、食事等含む心身の不調)」と回答があった。(本人票 Q32)
- ・家族が求める支援の中には「メンタルサポート」と回答があり、本人、家族共に心身の健康問題に不安を抱えているのがわかる。長期化するひきこもりは精神的、身体的にも健康を損ねてしまうため、健康面のサポートも必要と考えられる。(家族票 Q23)

6 居場所の提供

- ・家族が求める支援の中に「居場所・活動場所支援」、「フリースペースなどの居場所」と居場所を希望する回答があった。本人が社会的に孤立しないように、コミュニケーションが苦手な方でも行きやすい居場所を提供することが望まれる。(家族票 Q23、Q24)

調査の限界

- ・回収率は本人 3.3%、家族 4.3%、那覇市民生委員・児童委員 18.5%となっており、高くはなかった。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による様々な活動制限がある時期での調査であった。
- ・ひきこもりの定義には「統合失調症の陽性あるいは陰性症状に基づくひきこもり状態とは一線を画した非精神病性の現象とするが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低くないことに留意すべきである。」とあるが、統合失調症診断の有無、治療状況についての確認は本調査では行っていない。

本市の推計されるひきこもりの状態にある人は、およそ 2,800 人程度だが、今回の調査では 41 名程度となっており、この調査では、把握できなかったひきこもり状態の人が多くいると考えられる。(民生委員票 Q2、Q3)

したがって、報告書内の数値については、全体像を分析、理解するための参考値として記載する。

IV おわりに

ひきこもりの状態にある人は、心身のエネルギーを回復するために、安心、安全な環境で過ごすことが必要であると言われていています。周囲の人がひきこもりの状態を非難せずに見守り、本人の気持ちに寄り添うことを心がけることが大切です。本人や家族を孤立させず、本人の辛い気持ちや、共感してほしいこと、また家族の思いなど、話を聞いてくれる人が増えてほしいと思います。

本調査の結果を踏まえ、関係部署と連携し、ひきこもりの状態にある人や、家族を支える体制の構築に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、様々な活動において困難な状況を抱える中におかれましても、多くの方のご理解とご協力により、調査結果を取りまとめることができました。心より感謝申し上げます。

參考資料

令和3年度那覇市民意識調査におけるひきこもりに関する質問について

1 調査方法

- (1) 調査期間 令和3年9月6日～令和3年9月26日
 - (2) 対象者 那覇市に居住する満18歳以上の男女5,000人
 - (3) 抽出方法 年齢等間隔抽出法（住民基本台帳による等間隔抽出）による
 - (4) 回収実数 1,325人 回収率 26.5%
- （「令和3年度（第24回）那覇市民意識調査報告書」より）

2 那覇市民意識調査結果

(1) 質問内容

あなたは今までに、次のような状態を経験したことがありますか。
あてはまるものをすべて選択してください

1. ニート（15歳以上の方で、就労していない、また、仕事を探しておらず、家事も通学もしていないこと）
2. ひきこもり（社会的参加を避けて、6か月以上にわたり家庭にとどまり続けている状態。病気等で外出できない方は除く）
3. 不登校
4. 高校中退（高等専門学校含む）
5. 上記のような状態を経験したことはない

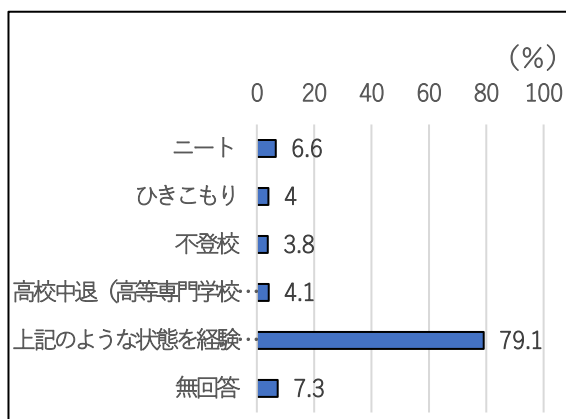
※上記の設問は内閣府が行った「子供・若者の意識に関する調査（令和元年度）」を参考に作成した。

(2) 回答結果

ニートやひきこもり、不登校、高校中退の経験について「上記のような状態を経験したことはない」が79.1%で最も高く、次いで「ニート」が6.6%、「高校中退（高等専門学校含む）」が4.1%の順となっている。

選択項目	回答数	割合
ニート	88	6.6%
ひきこもり	53	4.0%
不登校	51	3.8%
高校中退（高等専門学校含む）	54	4.1%
上記のような状態を経験したことはない	1048	79.1%
無回答	97	7.3%
合計	1391	—
回答者数	1325	105%

※回答者数を母数として割合を算出したため合計が100%を超えている。



(3) 属性別集計結果 (回答者属性[性別・年代・地区・居住年数]無回答除く)
 年代別でみると、30代で「ニート、ひきこもり、不登校、高校中退」等の経験をされた方の割合が高くなっている。

選択項目		ニート	ひきこもり	不登校	高校中退 (高校含む) (高等専門)	上記のような状態 を経験したことはない	無回答
回答者属性 (n=合計) 上段 (人) : 下段 (%)							
性別	男性 (n= 533)	52 9.8	25 4.7	28 5.3	23 4.3	404 75.8	39 7.3
	女性 (n= 759)	33 4.3	27 3.6	23 3.0	31 4.1	618 81.4	54 7.1
	その他/ 回答しない (n= 8)	2 25.0	1 12.5	-	-	6 75.0	-
年代	10代 (n= 8)	1 12.5	-	1 12.5	-	6 75.0	-
	20代 (n= 99)	8 8.1	3 3.0	4 4.0	4 4.0	82 82.8	3 3.0
	30代 (n= 160)	25 15.6	13 8.1	17 10.6	10 6.3	111 69.4	9 5.6
	40代 (n= 250)	28 11.2	16 6.4	13 5.2	15 6.0	192 76.8	7 2.8
	50代 (n= 219)	16 7.3	9 4.1	10 4.6	6 2.7	177 80.8	9 4.1
	60代 (n= 218)	6 2.8	6 2.8	3 1.4	10 4.6	180 82.6	18 8.3
	70代以上 (n= 344)	3 0.9	6 1.7	3 0.9	9 2.6	278 80.8	47 13.7
地区	本庁 (n= 450)	37 8.2	25 5.6	20 4.4	22 4.9	341 75.8	36 8.0
	真和志 (n= 340)	22 6.5	10 2.9	13 3.8	16 4.7	266 78.2	23 6.8
	小祿 (n= 223)	14 6.3	10 4.5	7 3.1	8 3.6	182 81.6	14 6.3
	首里 (n= 261)	9 3.4	5 1.9	8 3.1	6 2.3	223 85.4	16 6.1
居住年数別	1年未満 (n= 48)	6 12.5	1 2.1	1 2.1	1 2.1	40 83.3	2 4.2
	1～2年 (n= 63)	6 9.5	2 3.2	3 4.8	3 4.8	48 76.2	3 4.8
	3～5年 (n= 117)	10 8.5	7 6.0	3 2.6	5 4.3	90 76.9	8 6.8
	6～10年 (n= 109)	9 8.3	6 5.5	3 2.8	4 3.7	86 78.9	5 4.6
	11～20年 (n= 169)	12 7.1	10 5.9	9 5.3	5 3.0	134 79.3	12 7.1
	21年以上 (n= 793)	44 5.5	27 3.4	32 4.0	36 4.5	630 79.4	62 7.8

※  は第1位  は第2位  は第3位の項目

調査票

【生活状況に関する調査（ご本人様用）】

このたびはお忙しい中、アンケートにご協力いただき誠にありがとうございます。
『生活状況に関する調査』は、那覇市在住の満15歳から満64歳までの方（ご本人様）
及びご本人様と同居されている方を対象に、ご本人様の日常生活の状況などについてお
伺いするもので、調査結果は当市の今後の支援構築の基礎資料とさせていただきます。

皆様のご意見は、調査対象者が特定されないよう全体を集計します。また、**回答内容
や個人情報が上記目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることはありません。**

質問数が多く、記入時間も長くなると思いますが、以下の注意事項をお読みいた
だき、**全部の質問にご回答くださいますよう**、お願い申し上げます。

ご回答の提出をもって調査に同意を得たものとさせていただきます。

【記入上のお願い】

- 1) この調査票には**ご本人様ご自身**でご記入をお願いいたします。
- 2) ご記入は、質問の番号や矢印(→)の指示にそってお願いします。★印の枠がある質問
は全員がお答えください。
- 3) 回答に迷う場合は、あなたの気持ち、考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてく
ださい。

〔提出方法〕

同封された封筒に調査票を入れて、封筒と一緒に調査票を配布された機関へご提出くだ
さい。**締め切り：令和4年1月31（月）まで**

【問い合わせ先】

那覇市保健所 地域保健課 精神保健グループ

電話 098-853-7962

FAX 098-853-7969

【Q1～Q9はすべての方がお答えください。】

★Q1 あなたの性別をお答えください。（○はひとつだけ）

1. 男性 2. 女性 3. その他／回答しない

★Q2 あなたの年齢をお答えください。（○はひとつだけ）

1. 15歳～19歳 4. 30歳～34歳 8. 50歳～54歳
2. 20歳～24歳 5. 35歳～39歳 9. 55歳～59歳
3. 25歳～29歳 6. 40歳～44歳 10. 60歳～64歳
7. 45歳～49歳

★Q3 現在、あなたと同居している方に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 父 4. 祖父母 7. その他の人
2. 母 5. 配偶者 8. 同居家族はいない（単身世帯）
3. ぎょうだい 6. 子

★Q4 これまでに、以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。

通院・入院したことがある病気に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 心臓や血管の病気 6. 皮膚の病気
2. 肺の病気 7. 骨折・大ケガ
3. 胃や腸の病気 8. その他の病気
4. 精神的な病気 9. あてはまるものはない
5. 目や耳の病気

★Q5 あなたは現在、学校に通っていますか。（○はひとつだけ）

1. 現在、在学している 3. すでに卒業している
2. 中退した 4. 休学中である

★Q6 あなたが最後に卒業（中退を含む）した、または現在、在学している学校はどれですか。

（○はひとつだけ）

1. 中学校 4. 高等専門学校・短期大学
2. 高等学校（特別支援学校含む） 5. 大学・大学院
3. 専門学校 6. その他

★Q7 あなたは、中学校、高校卒業(特別支援学校含む)時に進路が決まらないまま卒業しましたか。

1. はい 2. いいえ

★Q8 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものにすべて○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 小学生時の不登校	4. 大学生(専門学校生、短期	6. 初めての就職から1年以
2. 中学生時の不登校	大学生を含む)時等の不登校	内に離職・転職した
3. 高校生時(特別支援	5. ニート(15歳から34歳ま	7. 35歳以上での無職
学校含む)の不登校	での間に就学、就労、職業	8. 季節労働の経験
	訓練のいずれも行っていな	9. 就職(求職)活動
	い状態があった)	10. あてはまるものはない

★Q9 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

1. 勤めている(正社員) 2. 勤めている(契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生のアルバイトは除く)) 3. 自営業・自由業 4. 学生(予備校生を含む)	5. 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない 6. 専業主婦・主夫 7. 家事手伝い 8. 無職
9. その他 (具体的に:)	

【Q13以降へ】

・【Q9で「5～8」に○をつけた方は、Q10～Q12にお答えください。】

Q10 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。(○はいくつでも)

1. 正社員として働いたことがある	3. 自営業・自由業をしたことがある
2. 契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある(学生時代の経験は含めません)	4. その他の形態で働いたことがある(具体的に:)
	5. いままで働いたことはない

Q11 現在、就職または進学を希望していますか。(○はひとつだけ)

1. 就職希望	2. 進学希望	3. どちらも希望していない
---------	---------	----------------

Q12 現在、就職活動をしていますか。(○はひとつだけ)

1. している	2. していない
---------	----------

【Q13～Q16はすべての方がお答え下さい。】

★Q13 次に挙げられた職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつの項目につき、ひとつ)

(1) 自分にふさわしい仕事がどこかにあると思う

1. はい	2. どちらかといえば、はい	3. どちらかといえば、いいえ	4. いいえ
-------	----------------	-----------------	--------

【Q13～Q16はすべての方がお答え下さい。】

- (2) まだ自分の夢を実現させる仕事に就けていないと思う
 1. はい 2. どちらかといえば、はい 3. どちらかといえば、いいえ 4. いいえ
- (3) 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない
 1. はい 2. どちらかといえば、はい 3. どちらかといえば、いいえ 4. いいえ
- (4) 定職に就かない方が自由でいいと思う
 1. はい 2. どちらかといえば、はい 3. どちらかといえば、いいえ 4. いいえ

★Q14 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|----------------|----------------|
| 1. テレビを見る | 7. 仕事をする | 13. あてはまるものはない |
| 2. ラジオを聴く | 8. 家事をする | 14. その他 |
| 3. 本を読む | 9. 育児をする | （具体的に：） |
| 4. 新聞を読む | 10. 介護・看護をする | |
| 5. ゲームをする | 11. インターネットをする | |
| 6. 勉強をする | 12. 何もしない | |

★Q15 以下に挙げられた通信手段の中で、ふだん利用しているものすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1. 固定電話 | 7. ウェブサイト（電子掲示板、ウェブ
ログを含む）の閲覧・書き込み |
| 2. ファックス | 8. ソーシャル・ネットワーク・
サービス（Facebook、mixiなど）の
閲覧・書き込み |
| 3. 携帯電話での通話（LINE等のアプリによる
通話を含む） | 9. ツイッター（Twitter） |
| 4. 携帯電話でのメール | 10. オンライン・ゲーム |
| 5. パソコンでのメール | 11. あてはまるものはない |
| 6. チャット（LINE等のアプリによるものを
含む）またはメッセージー | |

★Q16 ふだんのくらい外出しますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|---|---|
| 1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する | 5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に
関する用事の時だけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンピ
ニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない |
|---|---|

6ページQ27へ

【Q16で「5～8」に○をつけた方のみ、Q17～Q26にお答えください。】

- Q17 現在の状態となってどのくらい経ちますか。（○はひとつだけ）
- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 6ヶ月未満 | 5. 3年～5年未満 | 9. 15年～20年未満 |
| 2. 6ヶ月～1年未満 | 6. 5年～7年未満 | 10. 20年～25年未満 |
| 3. 1年～2年未満 | 7. 7年～10年未満 | 11. 25年～30年未満 |
| 4. 2年～3年未満 | 8. 10年～15年未満 | 12. 30年以上 |

Q18 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。（数字で具体的に）
 _____ 歳頃

Q19 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。（○はひとつだけ）

1. よく会話した	3. ほとんど会話しなかった
2. ときどき会話した	4. まったく会話しなかった

Q20 現在の状態になったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1. 小学生時の不登校	9. 病気
2. 中学生時の不登校	〔病名：〕
3. 高校生時(特別支援学校含む)の不登校	
4. 大学生時(専門学校生、短期大学生を含む)等の不登校	10. 妊娠したこと
5. 受験に失敗したこと(高校・大学等)	11. 退職したこと
6. 就職活動がうまくいかなかったこと	12. 介護・看護を担うことになったこと
7. 職場になじめなかったこと	13. 特にない
8. 人間関係がうまくいかなかったこと	14. 分からない
	15. その他
	〔具体的に：〕

Q21 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。（○はひとつだけ）

1. 非常に思う	2. 思う	3. 少し思う	4. 思わない
----------	-------	---------	---------

Q22 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。（○はいくつでも）

1. 親身に聴いてくれる 2. 医学的な助言をくれる 3. 心理学の専門家がいる 4. 精神科医がいる 5. 同じ悩みを持つ人と出会える 6. 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる	7. 無料で相談できる 8. 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)である 9. 自宅に専門家が来てくれる 10. 自宅から近い 11. あてはまるものはない
12. どのような機関にも相談したくない	

5ページのQ24へ

5ページのQ23へ

【Q22で「12」に○をつけた方のみ、Q23にお答えください。】

Q23 相談したくないと思う理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 自分のことを知られたくない	7. 相談機関が近くにない
2. 行っても解決できないと思う	8. その他
3. 何をきかれるか不安に思う	〔 具体的に： 〕
4. 相手にうまく話せないと思う	
5. 行ったことを人に知られたくない	9. 特に理由はない
6. お金がかかると思う	

Q24 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。（○はひとつだけ）

1 ある 2 ない

7ページのQ32へ

【Q24で「1」に○をつけた方のみ、Q25～Q26にお答えください。】

Q25 相談したことがある機関に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 生活保護担当課（那覇市保護課）	9. 子ども・若者総合相談センター
2. 障害福祉担当課（那覇市障がい福祉課）	（子ども若者みらい相談プラザ
3. 職業安定所（ハローワーク）・	soraе（ソラエ））
ジョブカフェ・地域若者サポートス	10. 地域包括支援センター
テーションなどの就労支援機関	11. 生活困窮者向けの相談窓口
（地域若者サポートステーション琉球、	（那覇市就職・生活支援パーソナルサ
沖縄県おしごと応援センター	ポートセンター等）
One×One 等）	12. 社会福祉協議会
4. 保健所・保健センター（那覇市）	13. 当事者の会・家族会
5. 精神保健福祉センター（沖縄県）	14. 上記以外の民間の相談機関・
6. 病院・診療所	支援機関（NPO等）
7. 発達障害者支援センター	15. その他の施設・機関
（「がじゅま〜る」）	〔 具体的に： 〕
8. ひきこもり地域支援センター	
（沖縄県ひきこもり専門支援センター）	

Q26 上記の機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

【Q16で「1～4」に○をつけた方のみ、Q27にお答えください。】

Q27 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。
 (○はひとつだけ)

<p>1. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する</p> <p>2. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける</p> <p>3. 自室からは出るが、家からは出ない</p> <p>4. 自室からほとんど出ない</p>	<p>5. 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない</p>
--	---------------------------------------

7ページのQ32へ

【Q27で「1～4」に○をつけた方のみ、Q28～Q31にお答えください。】

Q28 その状態はどれくらい続きましたか。 (○はひとつだけ)

1. 6ヶ月～1年未満	5. 5年～7年未満	9. 20年～25年未満
2. 1年～2年未満	6. 7年～10年未満	10. 25年～30年未満
3. 2年～3年未満	7. 10年～15年未満	11. 30年以上
4. 3年～5年未満	8. 15年～20年未満	

Q29 初めてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。 (数字で具体的に)

_____ 歳

Q30 その状態になったきっかけは何でしたか。 (○はいくつでも)

1. 小学生時の不登校	9. 病気
2. 中学生時の不登校	〔病名：〕
3. 高校生時（特別支援学校含む）の不登校	
4. 大学生時（専門学校生、短期大学生を含む）等の不登校	10. 妊娠したこと
5. 受験に失敗したこと（高校・大学等）	11. 退職したこと
6. 就職活動がうまくいかなかったこと	12. 介護・看護を担うことになったこと
7. 職場になじめなかったこと	13. 特にない
8. 人間関係がうまくいかなかったこと	14. 分からない
	15. その他
	〔具体的に：〕

Q31 その状態から、Q16で回答した現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だ
 と思いますか。ご自由にお書きください。また、相談した機関があればご記入くださ
 い。

・相談した機関： ()

【Q32以降の質問はすべての方がお答えください。】

★Q32 今、困っていることや気になっていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 人付き合いや友人関係の問題	5. 就職や仕事のこと
2. 健康状態 (睡眠、食事等含む心身の不調)	6. 学業や学校のこと
3. 経済的なこと	7. その他
4. 家族関係の問題	(具体的に：)
	8. 無し

★Q33 今、興味があったり、やってみたいことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 学業に関すること(進学、受験等)	4. 運動・健康管理に関すること
2. 就労に関すること(就職活動、資格 取得、アルバイト、パート等)	5. 自分について知ること(カウンセリング等)
3. 趣味・好きなことに関すること	6. その他
	(具体的に：)

★Q34 次に挙げられたことの中で、あなたのご家族にあてはまるものすべてに○をつけてくださ
 い。(○はいくつでも)

1. 私の家族は温かい	4. 家族から十分に愛されていると思う
2. 家族とはよく話をしている	5. あてはまるものはない
3. 私たち家族は、仲がよいと思う	

★Q35 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 非常に思う	2. 思う	3. 少し思う	4. 思わない
----------	-------	---------	---------

★Q36 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 親 | 7. カウンセラー・精神科医 |
| 2. きょうだい | 8. 都道府県、市町村などの専門機関の人 |
| 3. 友人・知人 | 9. ネット上の知り合い |
| 4. 配偶者 | 10. その他の人 |
| 5. 祖父母 | 〔具体的に： |
| 6. 職場の同僚・上司 | |
| | 11. 誰にも相談しない |

★Q37 現在、那覇市では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。

こうした支援のあり方について、ご意見があれば、自由にお書きください。

★Q38 現在や将来のことについて、不安に思うことはありますか。ご自由にお書きください。

【質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

回答の有無に関わらず、調査票を配布された場所へ返信用封筒に入れてご提出ください。】

【生活状況に関する調査（同居のご家族用）】

このたびはお忙しい中、アンケートにご協力いただき誠にありがとうございます。

この調査は、本市における、那覇市在住の満15歳から満64歳までの方のニーズ等を把握し、当市の今後の支援構築の基礎資料とさせていただくことを目的としております。

皆様のご意見は、調査対象者が特定されないよう全体を集計します。また、**回答内容や個人情報が上記目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることはありません。**

質問数が多く、記入時間も長くなると思いますが、以下の注意事項をお読みいただき、**全部の質問にご回答くださいますよう**、お願い申し上げます。

ご回答の提出をもって調査に同意を得たものとさせていただきます。

【記入上のお願ひ】

（注意点）

本アンケートにおいて、“ひきこもり”の文言が、対象者（ご本人様）の目に触れることに支障がある場合には、ご回答や保管の際には、どうぞご配慮を宜しくお願い致します。

- 1) この調査票にはひきこもり状態にある（あった）同居のご対象者（ご本人）についてご記入をお願いいたします。
- 2) ご記入は、質問の番号や矢印(→)の指示にそってお願いします。★印の枠がある質問は全員がお答えください。
- 3) 回答に迷う場合は、あなたの気持ち、考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。

調査対象者：那覇市在住の満15歳から満64歳までのひきこもり状態にある（あった）方またはその同居ご家族。（ひきこもり状態の期間が6か月未満の方でも下記定義に準ずる方は調査対象とする）

※ひきこもりとは、「様々な要因の結果として社会的参加(義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など)を回避し、原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態(他者と交わらない形での外出をしてもよい)を指す現象概念である。なお、ひきこもりは原則として統合失調症の陽性あるいは陰性症状に基づくひきこもり状態とは一線を画した非精神病性の現象とするが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低いことに留意すべきである。」

[平成22年『ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン』厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業より引用]

〔提出方法〕

同封された封筒に調査票を入れて、封筒と一緒に調査票を配布された機関へご提出ください。**締め切り：令和4年1月31（月）まで**

【問い合わせ先】

那覇市保健所 地域保健課 精神保健グループ
 電話 098-853-7962
 FAX 098-853-7969

★【Q1～Q10はすべての方がお答えください。】

・ひきこもり状態にある（あった）同居のご本人様(以下、対象者とする)についてお伺いします。

★Q1 対象者の性別をお答えください。(○はひとつだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他／回答しない

★Q2 対象者の年齢をお答えください。(○はひとつだけ)

1. 15歳～19歳 4. 30歳～34歳 8. 50歳～54歳
2. 20歳～24歳 5. 35歳～39歳 9. 55歳～59歳
3. 25歳～29歳 6. 40歳～44歳 10. 60歳～64歳
7. 45歳～49歳

★Q3 現在、対象者と同居している方について、対象者から見て該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 父 4. 祖父母 7. その他の人
2. 母 5. 配偶者
3. きょうだい 6. 子

★Q4 現在、同居している人は合計で何人ですか。対象者も含めた人数を記入してください。(数字で具体的に)

_____ 人

★Q5 対象者の家の生計を立てているのは、主に対象者から見てどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、対象者が、主に仕送りで生計を立てている場合は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(○はひとつだけ)

1. 対象者ご自身 5. きょうだい 9. 生活保護などを受けている
2. 父 6. 子 10. その他
3. 母 7. 他の家族や親戚 (具体的に：
4. 配偶者 8. 年金などを受けている)

★Q6 対象者は現在、学校に通っていますか。(○はひとつだけ)

1. 現在、在学している 3. 中退した
2. すでに卒業している 4. 休学中である

★Q7 対象者の家の暮らし向き(衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べてみて、上の上から下の下までのどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください。(○はひとつだけ)

1. 上の上 4. 中の上 7. 下の上
2. 上の中 5. 中の中 8. 下の中
3. 上の下 6. 中の下 9. 下の下

★Q8 対象者が最後に卒業（中退を含む）した、または現在、在学している学校はどれですか。（○はひとつだけ）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 中学校 | 4. 高等専門学校・短期大学 |
| 2. 高等学校（特別支援学校含む） | 5. 大学・大学院 |
| 3. 専門学校 | 6. その他 |

★Q9 対象者の現在の就労・就学等の状況についてお答えください。（○はひとつだけ）

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. 勤めている（正社員） | 5. 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない |
| 2. 勤めている（契約社員、派遣社員
又はパート・アルバイト（学生の
アルバイトは除く）） | 6. 専業主婦・主夫 |
| 3. 自営業・自由業 | 7. 家事手伝い |
| 4. 学生（予備校生を含む） | 8. 無職 |
| | 9. その他 |

（具体的に：

★Q10 対象者は、ふだんどのくらい外出しますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------------------|-----------------------------------|
| 1. 仕事や学校で平日は毎日外出する | 5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する |
| 2. 仕事や学校で週に3～4日外出する | 6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける |
| 3. 遊び等で頻繁に外出する | 7. 自室からは出るが、家からは出ない |
| 4. 人づきあいのためにときどき外出する | 8. 自室からほとんど出ない |

4ページQ19へ

【Q10で「5～8」に○をつけた方のみ、Q11～Q17にお答えください。】

Q11 対象者が、現在の状態となってどのくらい経ちますか。（○はひとつだけ）

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 6ヶ月未満 | 5. 3年～5年未満 | 9. 15年～20年未満 |
| 2. 6ヶ月～1年未満 | 6. 5年～7年未満 | 10. 20年～25年未満 |
| 3. 1年～2年未満 | 7. 7年～10年未満 | 11. 25年～30年未満 |
| 4. 2年～3年未満 | 8. 10年～15年未満 | 12. 30年以上 |

Q12 初めて現在の状態になったのは、対象者が何歳の頃ですか。（数字で具体的に）

_____ 歳頃

Q13 対象者が現在の状態になったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1. 小学生時の不登校	9. 病気
2. 中学生時の不登校	〔病名：〕
3. 高校生時（特別支援学校含む）の不登校	
4. 大学生時（専門学校生、短期大学生を含む）等の不登校	10. 妊娠したこと
5. 受験に失敗したこと（高校・大学等）	11. 退職したこと
6. 就職活動がうまくいかなかったこと	12. 介護・看護を担うことになったこと
7. 職場になじめなかったこと	13. 特にない
8. 人間関係がうまくいかなかったこと	14. 分からない
	15. その他
	〔具体的に：〕

Q14 現在の状態について、対象者ご自身が関係機関に相談したことはありますか。
 （○はひとつだけ）

1 ある 2 ない

↓ ↓

下記のQ16へ

【Q14で「1」に○をつけた方のみ、Q15にお答えください。】

Q15 相談したことの機関に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 生活保護担当課（那覇市保護課）	9. 子ども・若者総合相談センター
2. 障害福祉担当課（那覇市障がい福祉課）	（子ども若者みらい相談プラザsorae
3. 職業安定所（ハローワーク）・	（ソラエ））
ジョブカフェ・地域若者サポートス	10. 地域包括支援センター
テーションなどの就労支援機関	11. 生活困窮者向けの相談窓口
（地域若者サポートステーション琉	（那覇市就職・生活支援パーソナルサポート
球、沖縄県おしごと応援センター	センター等）
One×One 等）	12. 社会福祉協議会
4. 保健所・保健センター（那覇市）	13. 当事者の会・家族会
5. 精神保健福祉センター（沖縄県）	14. 上記以外の民間の相談機関・支援機関
6. 病院・診療所	（NPO等）
7. 発達障害者支援センター	15. その他の施設・機関
（「がじゅま〜る」）	具体的に：
8. ひきこもり地域支援センター	〔
（沖縄県ひきこもり専門支援センター）	

Q16 現在の状態について、対象者と同居されている方が関係機関に相談したことはありますか。
 （○はひとつだけ）

1 ある 2 ない

↓ ↓

次ページのQ17へ 5ページのQ23へ

【Q16で「1」に○をつけた方のみ、Q17～Q18にお答えください。】

Q17 相談したことのある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 生活保護担当課（那覇市保護課）	9. 子ども・若者総合相談センター
2. 障害福祉担当課（那覇市障がい福祉課）	（子ども若者みらい相談プラザsorae
3. 職業安定所（ハローワーク）・	（ソラエ））
ジョブカフェ・地域若者サポートス	10. 地域包括支援センター
テーションなどの就労支援機関	11. 生活困窮者向けの相談窓口
（地域若者サポートステーション琉	（那覇市就職・生活支援パーソナルサ
球、沖縄県おしごと応援センター	ポー
One×One 等）	トセンター等）
4. 保健所・保健センター（那覇市）	12. 社会福祉協議会
5. 精神保健福祉センター（沖縄県）	13. 当事者の会・家族会
6. 病院・診療所	14. 上記以外の民間の相談機関・支援機関
7. 発達障害者支援センター	（NPO等）
（「がじゅま〜る」）	15. その他の施設・機関
8. ひきこもり地域支援センター	（具体的に：
（沖縄県ひきこもり専門支援センター）	

Q18 上記の機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

【Q10で「1～4」に○をつけた方のみ、Q19にお答えください。】

Q19 対象者は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。
 （○はひとつだけ）

1. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する 2. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける 3. 自室からは出るが、家からは出ない 4. 自室からほとんど出ない	5. 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない
--	--------------------------------

5ページのQ20

5ページのQ23

【Q19で「1～4」に○をつけた方のみ、Q20～Q22にお答えください。】

Q20 その状態はどれくらい続きましたか。（○はひとつだけ）

1. 6ヶ月～1年未満	5. 5年～7年未満	9. 20年～25年未満
2. 1年～2年未満	6. 7年～10年未満	10. 25年～30年未満
3. 2年～3年未満	7. 10年～15年未満	11. 30年以上
4. 3年～5年未満	8. 15年～20年未満	

Q21 初めてその状態になったのは、対象者が何歳の頃ですか。（数字で具体的に）

_____ 歳

Q22 対象者がその状態になったきっかけは何でしたか。（○はいくつでも）

1. 小学生時の不登校	9. 病気
2. 中学生時の不登校	〔病名： _____〕
3. 高校生（特別支援学校含む）時の不登校	
4. 大学生（専門学校生、短期大学生を含む）時等の不登校	10. 妊娠したこと
5. 受験に失敗したこと（高校・大学等）	11. 退職したこと
6. 就職活動がうまくいかなかったこと	12. 介護・看護を担うことになったこと
7. 職場になじめなかったこと	13. 特にない
8. 人間関係がうまくいかなかったこと	14. 分からない
	15. その他
	〔具体的に： _____〕

★【Q23以降の質問はすべての方がお答えください。】

★Q23 現在、那覇市では、ひきこもり状態の方への支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば、該当するものに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1. 相談窓口の周知	4. 生活費の支援	8. その他
2. 家族等周囲への支援	5. 居場所・活動場所支援	〔具体的に： _____〕
3. 就労の支援（在宅ワーク等含む）	6. メンタルサポート	
	7. 訪問支援（家事支援等含む）	

★Q24 今、どのような支援を希望されますか。また、今後どのような支援を望まれますか。

(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|----------------|---------|
| 1. 面接相談 | 5. 家庭訪問のサービス | 9. 働く場所 |
| 2. 電話相談 | 6. 就労訓練をするサービス | 10. その他 |
| 3. メール相談 | 7. 当事者の会 | 具体的に： |
| 4. フリースペースなどの居場所 | 8. 家族や親の会 | |

【質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

回答の有無に関わらず、調査票を配布された場所へ返信用封筒に入れてご提出ください。】

【令和3年度 那覇市ひきこもりに関する実態調査】

1 調査の目的

本調査は、ひきこもり等についての実態を把握し、その対策の大切な基礎資料として活用させていただきます。

2 調査の該当者

この調査では、民生委員・児童委員として受け持っている担当地域において、次に当てはまる方を該当者とします。

- ・満15歳から満64歳までの方で、次のいずれかに該当する方
- ①仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅に引きこもっている状態の方
- ②仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々買い物や自分の趣味のために外出することもある方

※これらはあくまで目安です。類似していると思う場合は回答してください。

このアンケート調査はあなたが日頃の活動等の中で把握している情報をもとに記入してください。この調査に回答するための個別訪問等は不要です。

また、この調査は任意の回答です。必ず提出しなければならないものではありません。

3 調査票回収日

令和4年2月の各地区定例会へご提出をお願いいたします。

令和4年2月の会長連絡会にて精神保健グループ職員が回収しますのでご協力よろしくをお願いいたします。

※期限までのご提出が難しい場合は、令和4年2月25日（金）までに民生委員児童委員連合会事務局または、可能な方は那覇市保健所2階精神保健グループへご提出をお願いいたします。

【問い合わせ先】

那覇市保健所 地域保健課
精神保健グループ（2階）

電話 098-853-7962

FAX 098-853-7969

調査票

※本調査票はひきこもり当事者の方3名まで記載できます。4名以上記載する場合は新しい調査票に記載していただきますようお願いいたします。下記の（ ）内に枚数を記載ください。

2枚目の調査票の記載となる場合は2枚目と記載ください。

（ ） 枚目

Q1 あなたの担当地区を選び、○で囲んでください。

本庁（ 那覇第一 ・ 那覇第二 ・ 那覇第三 ・ 那覇第四 ・ 那覇第五 ）

真和志（ 真和志第一 ・ 真和志第二 ・ 真和志第三 ・ 真和志第四 ・ 真和志第五 ）

首里（ 首里第一 ・ 首里第二 ・ 首里第三 ）

小禄（ 小禄第一 ・ 小禄第二 ・ 小禄第三 ）

Q2 あなたの担当地域に、現在下記（1）（2）に該当する方はおられますか。

A、Bいずれか該当する項目を○で囲んでください。

A 該当する方は「いない」⇒9ページのQ4を回答頂き調査終了です。

B 該当する方は「いる」⇒2ページのQ3へ

- （1）年齢が満15歳から満64歳までの方で、次のいずれかに該当する方
- ①仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方
- ②仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々買い物や自分の趣味のために外出することもある方
- （2）上記に準じる方で、民生・児童委員の皆様から見て心配な方、また、家族の方からご相談があった経験のある方
- ※ただし、重度の障害や疾病のため外出できない方を除きます。

Q 3 Q2で「いる」とお答えの場合、その状況を教えてください。

- ・ひきこもり当事者の方（以下、「当事者」）お一人につき、下記表を1列お使いください。
- ・該当する項目に○印をつけてください。
- ・1世帯に2人以上おられる場合、1人につき1列お使いください。
- ・用紙が足りない場合は、那覇市保健所地域保健課精神保健グループ崎山・神谷までご連絡ください。

※個人が特定できる内容（具体的なお名前等）は記載しないでください。

	該当者A	該当者B	該当者C	記載例
(1)当事者の性別	男性 女性 不明	男性 女性 不明	男性 女性 不明	男性 女性 不明
(2)当事者の年齢 ※お分かりでない場合は推測でかまいません。	15歳～19歳 20代 30代 40代 50代 60歳～64歳 不明	15歳～19歳 20代 30代 40代 50代 60歳～64歳 不明	15歳～19歳 20代 30代 40代 50代 60歳～64歳 不明	15歳～19歳 20代 30代 40代 50代 60歳～64歳 不明
(3)当事者の家族構成 (同居の方を○で囲んでください。複数回答可)	配偶者 子 父親 母親 祖父 祖母 兄弟姉妹 その他 () 不明	配偶者 子 父親 母親 祖父 祖母 兄弟姉妹 その他 () 不明	配偶者 子 父親 母親 祖父 祖母 兄弟姉妹 その他 () 不明	配偶者 子 父親 母親 祖父 祖母 兄弟姉妹 その他 () 不明

質問	該当者A	該当者B	該当者C	記載例
(4)住まい				
1 自宅 (一戸建て・集合住宅)	1 (一戸建て・ 集合住宅)	1 (一戸建て・ 集合住宅)	1 (一戸建て・ 集合住宅)	1 (一戸建て・ 集合住宅)
2 自宅以外のアパート等	2	2	2	2
3 親族宅 (続柄)	3 (続柄)	3 (続柄)	3 (続柄)	3 (続柄)
4 その他 ()	4 ()	4 ()	4 ()	4 ()
(5)当事者の外出状況				
1 自室からほとんど出ない	1	1	1	1
2 自室からは出るが、家からは出ない	2	2	2	2
3 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	3	3	3	3
4 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	4	4	4	4
5 不明	5	5	5	5
(6)当事者および同居している家族（当事者世帯）の経済状態				
1 問題がない	1	1	1	1
2 困窮している	2	2	2	2
3 生活保護受給	3	3	3	3
4 不明	4	4	4	4

質問	該当者A	該当者B	該当者C	記載例
(7)ひきこもっている期間				
1 6か月未満	1	1	1	1
2 6か月～1年未満	2	2	2	2
3 1年～2年未満	3	3	3	3
4 2年～3年未満	4	4	4	4
5 3年～5年未満	5	5	5	5
6 5年～7年未満	6	6	6	6
7 7年～10年未満	7	7	7	7
8 10年～15年未満	8	8	8	8
9 15年～20年未満	9	9	9	9
10 20年～25年未満	10	10	10	10
11 25年～30年未満	11	11	11	11
12 30年以上	12	12	12	12
13 不明	13	13	13	13

質問	該当者A	該当者B	該当者C	記載例
(8)ひきこもりに至った経緯 (複数回答可)				
1 不登校 (選択：小学生・中学生・ 高校生)	1 (小・中・高)	1 (小・中・高)	1 (小・中・高)	1 (小・中・高)
2 大学生(専門学校生、 短期大学生を含む)時等 の不登校	2	2	2	2
3 受験(高校・大学等)に 失敗した	3	3	3	3
4 就職活動がうまくいか なかった	4	4	4	4
5 職場になじめなかった	5	5	5	5
6 人間関係がうまくいか なかった	6	6	6	6
7 病気 (病名：)	7 (病名)	7 (病名)	7 (病名)	7 (病名)
8 妊娠した	8	8	8	8
9 退職した	9	9	9	9
10 介護・看護をになうこ とになった	10	10	10	10
11 特にない	11	11	11	11
12 不明	12	12	12	12
13 その他 (自由記載)	13 ()	13 ()	13 ()	13 ()

質問	該当者A	該当者B	該当者C	記載例
(9)当事者の健康状態				
1 良い	1	1	1	1
2 良くない/通院している	2	2	2	2
3 良くないが通院していない	3	3	3	3
4 不明	4	4	4	4
(10)当事者に関することについて（複数回答可）				
1 障がいがある	1	1	1	1
2 メンタル面の課題がある	2	2	2	2
3 親族の介護をしている	3	3	3	3
4 家族関係に問題がある	4	4	4	4
5 違法行為	5	5	5	5
6 DV・虐待	6	6	6	6
7 コミュニケーションが苦手	7	7	7	7
8 外国籍	8	8	8	8
9 中卒・高校中退	9	9	9	9
10 特にない	10	10	10	10
11 不明	11	11	11	11
12 その他 （自由記載）	()	()	()	12 ()
(11)当事者または同居している家族が同居者以外で相談している人（複数回答可）				
1 同居していない親族	1	1	1	1
2 友人・知人	2	2	2	2
3 相談している人はいない	3	3	3	3
4 不明	4	4	4	4
5 その他 （自由記載）	()	()	()	()

質問	該当者A	該当者B	該当者C	記載例
(12)当事者または同居している家族が相談した相談機関等（複数回答可）				
1 生活保護担当課 (那覇市保護課)	1 (当事者・家族)	1 (当事者・家族)	1 (当事者・家族)	1 (当事者・家族)
2 障害福祉担当課 (那覇市障がい福祉課)	2 (当事者・家族)	2 (当事者・家族)	2 (当事者・家族)	2 (当事者・家族)
3 職業安定所(ハローワーク)・ ジョブカフェ・地域若者サ ポートステーションなどの 就労支援機関(地域若者サ ポートステーション琉球、 沖縄県おしごと応援セン ターOne×One)	3 (当事者・家族)	3 (当事者・家族)	3 (当事者・家族)	3 (当事者・家族)
4 保健所(那覇市)	4 (当事者・家族)	4 (当事者・家族)	4 (当事者・家族)	4 (当事者・家族)
5 精神保健福祉センター(沖縄 県)	5 (当事者・家族)	5 (当事者・家族)	5 (当事者・家族)	5 (当事者・家族)
6 病院・診療所	6 (当事者・家族)	6 (当事者・家族)	6 (当事者・家族)	6
7 発達障害者支援センター (がじゅま〜る)	7 (当事者・家族)	7 (当事者・家族)	7 (当事者・家族)	7 (当事者・家族)
8 ひきこもり地域支援セン ター(沖縄県ひきこもり専門 支援センター)	8 (当事者・家族)	8 (当事者・家族)	8 (当事者・家族)	8 (当事者・家族)
9 子ども・若者総合相談セン ター(子ども若者みらい相談 プラザsorae(ソラエ))	9 (当事者・家族)	9 (当事者・家族)	9 (当事者・家族)	9 (当事者・家族)
10 地域包括支援センター	10 (当事者・家族)	10 (当事者・家族)	10 (当事者・家族)	10 (当事者・家族)
11 生活困窮者向け相談窓口 (那覇市就職・生活支援パー ソナルサポートセンター等)	11 (当事者・家族)	11 (当事者・家族)	11 (当事者・家族)	11 (当事者・家族)
12 社会福祉協議会	12 (当事者・家族)	12 (当事者・家族)	12 (当事者・家族)	12 (当事者・家族)
13 当事者の会・家族会	13 (当事者・家族)	13 (当事者・家族)	13 (当事者・家族)	13 (当事者・家族)
14 上記以外の民間の相談機 関・支援機関(NPO等)	14 (当事者・家族)	14 (当事者・家族)	14 (当事者・家族)	14 (当事者・家族)
15 その他の施設・機関 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()
16 相談していない	16	16	16	16
17 不明	17	17	17	17

質問	該当者A	該当者B	該当者C	記載例
<p>(13)その他 気になる点、補足等を自由にご記入ください。</p>				

Q4 ひきこもりに関する支援策で、あなた自身の活動や行政に必要と思われるもの全てに○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 ひきこもりの人やその家族への個別のかつ長期的なかかわり
- 2 コミュニケーション能力開発や就労体験など就労につながる支援の充実
- 3 関係機関同士の情報の共有や連携の強化
- 4 支援する側の知識・スキル向上のための研修会の実施
- 5 身近なひきこもり相談窓口を設置、その窓口の広報をする
- 6 家族の方への研修会や勉強会の充実（家族対象の研修会など家族が対応を学ぶ等）
- 7 家族同士が気軽に集まり、何でも話せる居場所づくり
- 8 ひきこもりの人同士が気軽に集まれる居場所づくり
- 9 ひきこもりの人の自立に向けた生活訓練や社会復帰訓練ができる場所の充実
- 10 ひきこもりに関して、地域住民への正しい理解と知識の普及
- 11 不登校の子どもへの支援を充実する
- 12 その他（）

～調査は以上になります。ご協力ありがとうございました。～

那覇市
生活状況に関する調査
(ひきこもりに関する実態調査)
結果報告書

発行日 令和5年3月

発行 那覇市

編集 那覇市保健所 健康部 地域保健課

〒902-0076 那覇市与儀1丁目3番21号

電話 098-853-7962

FAX 098-853-7965